

# 公益財団法人千里文化財団 令和5年度 事業状況報告書

令和5年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

■ 令和5（2023）年度 事業状況報告	1
■ 令和5（2023）年度 収支決算報告	30
■ 令和5（2023）年度 理事会及び評議員会開催状況	44

## ■ 令和5（2023）年度事業状況報告

当財団の目的は、「文化人類学・民族学等の振興を図るため、関係諸機関と連携しその普及に努める。それらの活動を通して人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、地域社会に根ざしつつ、ひろく国際社会に貢献する」と定款に定められ、その目的を達成するための各種事業を推進し、文化振興や次世代育成等を含め、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいる。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症に対応する行動制限が大幅に緩和され、国立民族学博物館の入館者数、ショップの事業収入も回復した。当財団が担う展示案内学習支援業務等も通常の体制で業務に従事できるようになっている。友の会事業では、国内各地を訪問し宿泊を伴う体験セミナーを5年ぶりに再開するとともに、友の会の年会費の支払い方法にオンライン決済（クレジット払い）を導入し、在宅での入会や継続の手続きがおこなえるようにシステムも改善した。福岡市での巡回展開催も含め、他の事業についてもおおむね順調に業務を遂行することができた。

また、国立民族学博物館の存在意義を高め、地域との連携を強める事業として、2025年大阪・関西万博開催にむけた、1970年大阪万博の二大レガシーである国立民族学博物館と万博記念公園を管理する大阪府との協働事業、「日本万国博覧会記念公園シンポジウム」の3回目を発展的な事業として実施できた。2024年はみんぱく創設50周年、2027年にはみんぱく開館50周年、友の会発足50周年の節目の年となる。異文化間の相互理解と寛容を促す学問として、重要性が一層増している文化人類学・民族学の普及のため、各種事業を継承する体制づくりや記録作成にも精力的に取り組んだ。

### 2023年度の重点的な取り組み

- (1) ポストコロナの会員増強に向けた広報及びサービス事業の拡充
- (2) 文化多様性の視点でSDGsを考察する事業
- (3) 2025年大阪・関西万博の機運醸成のための事業の実施
- (4) 国立民族学博物館創設50周年事業（2024年）への協力

### 1. 文化人類学・民族学等普及事業

一般市民を対象に文化人類学・民族学の普及のため、国内唯一の文化人類学・民族学の研究センターである国立民族学博物館の協力のもと、学術情報をわかりやすく提供する各種事業を企画・実施

- 1) 「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備並びに支援業務」に協力した。別紙1参照
- 2) 文化人類学・民族学の研究促進・普及を目的とした図書の企画として、国立民族学博物館友の会機関誌（市民向けビジュアル学術雑誌）『季刊民族学』4号（184号～187号）を編集・発行した。  
※広報普及活動として、172号から書籍取次会社を通して全国の書店への配本を開始。別紙2参照
- 3) 文化人類学・民族学の普及を目的とした各種講演会・セミナー等を企画・運営した。別紙3参照
- 4) 関連分野の研究活動の普及を目的とした事業の協力

### 2. 国立民族学博物館利用促進事業

国立民族学博物館の利用促進を目的として、一般市民を対象にした各種協力事業を実施

- 1) 国立民族学博物館特別展等解説書（図録）の編集協力、発行 別紙4参照  
特別展図録『交感する神と人—ヒンドゥー神像の世界』（2023年9月14日発行）、  
特別展図録『日本の仮面—芸能と祭りの世界』（2024年3月28日発行）、  
特別展図録『吟遊詩人の世界』（2024年9月中旬発行予定）の編集協力をおこなった。

2) 国立民族学博物館の展示理解向上及び普及のための教材制作及び頒布事業

ミュージアム・ショップの運営：国立民族学博物館刊行物の頒布、現地産民族資料及び文化人類学・民族学関連図書の頒布、オリジナルグッズ等の制作及び頒布をおこなった。

2023 年度教材頒布の取扱い内容：

- 国立民族学博物館刊行物  
内容) 本館展示『展示案内』、特別展及び企画展の解説書(図録)、『月刊みんなぱく』、『研究報告』等
- 文化人類学・民族学関連図書・映像音響資料  
内容) 図書約 4,000 種、民族音楽等の CD・DVD 約 50 種
- レプリカ、ポストカード類：  
内容) 砂金の分銅等レプリカ、ポストカード等
- 記念品(オリジナルグッズ)、便宜共用品  
内容) ノートブック、クリアファイル、一筆箋、レターセット、Tシャツ、スタンプ、キャンパスバッグ、マグカップ、マスキングテープ、クッキー、エコバック、切手、雨傘 他
- 現地産民族資料(約 100 カ国)  
内容) 芸能・儀礼資料(仮面、楽器他)、生活資料(衣類、嗜好品、装飾品他)

3) 国立民族学博物館の普及事業を各種実施した。

「国立民族学博物館友の会」の運営：国立民族学博物館並びに文化人類学・民族学の普及を目的に、国立民族学博物館と市民のあいだのかけはしとなる友の会を設け、博物館の活動を支援するとともに、市民の博物館活用を促すことを目的として運営している。

① 「国立民族学博物館友の会」会員の増強 別紙 5・6 参照

2024 年 3 月末会員件数：維持会員 90 口(法人 43 社 /個人 4 名)、正会員 1,353 件(+83 ※2022 年度末比較)、家族会員 31 件(-8)、ミュージアム会員 196 件(+53)、フリーパス 137 件(+40)、キャンパスメンバーズ 7 校 3 学部

② 「友の会ニュース」の発行 (No.279~No.284) 別紙 7 参照

No.279 (5 月 1 日発行)、No.280 (7 月 1 日発行)、No.281 (9 月 1 日発行)、  
No.282 (11 月 1 日発行)、No.283 (1 月 1 日発行)、No.284 (3 月 1 日発行)

③ 「キャンパスメンバーズ」の運営及び増強

④ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんなぱく』作成支援及びデザイン業務を受託し実施した。 別紙 8 参照

⑤ 国立民族学博物館広報誌『月刊みんなぱく』誌面リニューアル及び編集制作業務を受託し実施した。

⑥ 2024 年国立民族学博物館オリジナルカレンダー「ミュージアムで世界に出会う」(本館資料)の制作及び広報普及活動をおこなった。別紙 9 参照

2023 年度友の会増強への取り組み

8 月に友の会会費のオンライン決済を導入し、支払方法を充実させた。リニューアルした広報誌『月刊みんなぱく』2024 年 1 月号の発行に併せ、コロナ下の期限切れ会員対象に再登録を案内した。イベント情報等の発信する「友の会 LINE」(2022 年 9 月 1 日開設)への登録を促すため、年末にはショップの割引クーポンを提供した。

「国立民族学博物館友の会」維持会員及び正会員へ会費の税制優遇措置について定期的な広報をおこなった。  
創設当初(発足から 4 ヶ年)よりご継続の会員へオリジナルカレンダーを送付した。(約 380 件)

4) 国立民族学博物館来館者の学習支援事業(受託事業)

① 展示案内学習支援等業務を受託し実施した。

展示資料に関する情報提供・案内・学習支援、各展示場の施設・設備の案内、看視業務をおこない、来館者の研究成果の情報提供を有効におこなう業務

2023年度は、関西文化の日（無料入館日）における入館者カウント等業務（11月18日、19日）を実施した。

② 研究資料整理・情報化及び利用管理業務を受託し実施した。

標本資料及び映像・音響資料に関する情報の作成及び資料の整理等をおこなうとともに、情報サービス、展示準備・展示運営のための資料管理及び情報の作成・管理等をおこなう業務

③ 民族学資料共同利用窓口業務を受託し実施した。

国立民族学博物館の民族学資料（標本資料、文献図書資料、オリジナル映像・音響資料及び研究アーカイブズ資料）について館内外からの問い合わせに対応する窓口業務

④ 関連催し物の開催支援各種業務

みんなくゼミナール・研究公演等受付案内業務を受託し実施した。

JICA「博物館学コース」研修受入事業（担当科目）「ミュージアム・ショップマネジメント、商品開発」講義指導を受託し実施した。令和5年度 国立民族学博物館「博物館とコミュニティ開発コース」研修員受入事業  
実施日時：10月4日（水）14：00～16：30

5) その他、国立民族学博物館活動に協力する各種事業

① 国立民族学博物館特別展及び企画展に対する協力として各種広報活動を実施した。

特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」（3月9日～5月30日）、特別展「交感する神と人—ヒンドゥー神像の世界」（9月14日～12月5日）、特別展「日本の仮面—芸能と祭りの世界」（2024年3月28日～6月11日）、企画展等各種催しの広報活動をおこなった。

② 研究普及活動に対する協力

③ 国立民族学博物館創設50周年記念事業等への協力 別紙10参照

版画展「田主誠 ミュージアム・オブ・ドリームス — みんなくと歩んだ版画家の創作世界」

開催場所：国立民族学博物館 本館1階 エントランスホール（無料ゾーン）（9月7日～11月28日）

### 3. 博物館活動支援及び調査研究事業

博物館に集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、そのあり方を調査研究するとともに博物館活動を支援

1) 博物館に集積された資料と情報の活用方法及び博物館等の連携のあり方に関する調査をおこなった。

① 出前授業プログラムの開発及び普及 別紙11参照

国立民族学博物館収蔵資料や情報を活用した出前授業プログラムの企画・開発・普及を通して、博物館活動を支援することを目的としている。

実施プログラム (1)「ビーズで世界とつながろう—ペーパービーズ作りに挑戦！」

(2)「いちまい布を使ってみよう！—世界の一枚布・日本のふろしき」

② 各地の博物館等を活用する巡回展や展覧会の開催 別紙12参照

国立民族学博物館収蔵資料からなる巡回展を地方で開催することで、国際的にも価値の高い民族学的資料を有効に活用するとともに、多様性と共通性、異文化理解について考えてもらうことを目的としている。

開催場所：福岡市博物館

展示内容：「驚異と怪異—想像界の生きものたち」（3月11日～5月14日）

2) 博物館運営や展示のあり方に関する調査研究

指定管理者制度における博物館運営に関する調査、巡回展のための什器に関する調査、博物館におけるミュージアム・ショップの役割に関する調査をおこなった。

### 3) 各地の博物館展示案内等の編集業務

#### ① 日本生命財団の出版助成への編集協力（受託事業）

地域文化の振興・青少年の文化教育に資するため、全国各地の博物館の協力をえて各博物館の展示案内を出版する事業 別紙13参照

・徳島県立博物館展示案内『ゆたかな自然、多様なくらし』（2024年3月1日発行）

以下、2023年度に作業をおこなった対象博物館

・山梨県立博物館（2025年2月刊行予定）、陸前高田市立博物館（2026年2月刊行予定）

### 4. 地域活性化、文化振興協力事業

多様な文化の振興をめざし、各種文化活動に協力した。

#### 1) 日本万国博覧会記念公園関連施設との連携事業

2025年大阪・関西万博に向けたシンポジウムの開催

実施内容：2025年大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成及び地域活性化のため、2021年度から万博開催年まで、1970年大阪万博が生み出した2大レガシーである万博記念公園と国立民族学博物館が協働しておこなう毎年開催するシンポジウム。

第1回目は「人類・いのち・万博：1970から2025に向けて」と題して2021年11月23日に、第2回目は「人類よ、どこへ行く？ポストコロナの世界を占う—Quo vadis, homini?」と題して2022年10月29日に開催。

2023年度は下記の内容で開催した。別紙14参照

第3回シンポジウム：日本万国博覧会記念公園シンポジウム2023

『日本人』の内と外—異文化接触を語り合う

開催日時：2023年10月28日（土）13：30～16：30（13時開場）

#### 2) 第32回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務（松下幸之助記念志財団からの受託事業）

5月12日（金）：第1回選考委員会（千里阪急ホテル）／6月中旬：推薦依頼／

9月上旬：推薦の集約／9月25日（月）：第2回選考委員会（オンライン）／

10月17日（火）：第3回選考委員会（千里阪急ホテル）／

11月中旬：選考結果の案内送付／2024年2月3日（土）：授賞式（リーガロイヤルホテル大阪）

#### 3) 各種学会支援業務

##### ① 「日本展示学会」の事務局業務（学会からの受託事業）

##### ② 文化財保存修復学会 事業開催準備及び運営業務（学会からの受託事業）

・第45回学会大会 事業開催準備及び運営業務

開催日：6月24日（土）、25日（日）

開催地：国立民族学博物館2階 みんなくインテリジェントホール（講堂）

#### 4) 同人雑誌『千里眼』の編集を受託し、第162号～第165号の4号を発行した。 別紙15参照

・2024年3月1日時点の同人数33名

・世話人 堀井良殷氏の依頼で、寄稿を抜粋し『民の公共—志ある時代の記憶』を制作（6月30日発行）

#### 5) 公的機関との連携事業

・長野県との「信州の山岳文化創生事業」の推進に関する包括連携協定に基づく協力

・滋賀県平和祈念館への協力

令和5年度地域交流室展示「破られた約束—太平洋戦争下の日系カナダ人」への協力

（海外からのデータ変換及び保存等）展示期間：11月1日（水）～2024年2月25日（日）

## 「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備並びに支援業務」事業報告

(2023年度：2023年4月～2024年3月)

【概要】2023年5月にコロナウイルス感染症が5類感染症となり、およそ3年ぶりに利用者の来室が通常にもどり、利用数は館内外で180人を超え、その支援や協力をおこなった。室の運営に関わることは、室長と関係教員、室員とのミーティングを11回開催し、問題の解決、デジタルデータの作成と保管、利用、活用などを検討した。資料の整理と整備は、「梅棹忠夫著作」、「梅棹忠夫写真コレクション」、梅棹が関わった事業の「一件ファイル」(約1万件)、「現地調査ファイル」、「引紹批言録」、古い時代の学会等名簿、書籍や逐次刊行物などの点検をおこない(内容確認、資料補填、排架)、基礎データを作成した(リスト、資料目録、画像データ、現地調査行程表)。これらの調査、研究、学会、出版、政策提言や、国立民族学博物館の創設、運営に係る資料とデータを相互関連させて、成長型の「梅棹忠夫デジタルアーカイブズ」の構築を進め、公開に近づけた。このデータベースの完成は、日本の民族学研究史、探検史、梅棹忠夫の学問体系の成立過程の解明に寄与し、研究活動に資するものである。また、特に今年度は、国立民族学博物館創設50周年の各種事業に協力した。業務の具体的な内容は以下のとおり。

### 【整理及び基礎データ整備(デジタル化、データベース構築準備)】

- ・データベース『梅棹忠夫著作目録(1934～)』(約7,000件公開中)の整備(レコード新規登録、更新)
- ・「一件ファイル」(梅棹の著作、事業、交友などの一件書類や書簡のファイル約1万件)約1,600件の点検、資料補填し、目録情報を更新
- ・「梅棹忠夫著作」(デジタル化)劣化対策のための画像データ作成支援(1969年の著作をもとに約500コマ、外注)
- ・「現地調査ファイルほか」(整理とデジタル化)京都大学大サハラ探検隊(1968)、第1次、第2次京都大学ヨーロッパ学術調査隊(1967)、(1969)(約1,200コマ、外注)
- ・「引紹批言録(1940～)」(梅棹著作の引用、紹介、批評、言及記事の集積)は、記事収集と整理、データを作成し整備
- ・「梅棹忠夫写真コレクション」(館内限定公開中DB)(約35,000件):情報を補填し更新(京都大学カラコラム・ヒンズークシ学術探検隊(1955)、大阪立市大学東南アジア学術調査隊(1957～1958)、(1961～1962))管理ソフトウェアの変更に伴う新検索画面の変更についての提案。「調査隊名」の更新
- ・音声資料、映像資料の整理:講演などの梅棹の音声や映像の整理(資料確認、リスト更新)
- ・みんぱく図書室関連の整理:梅棹アーカイブズ関連の書籍と逐次刊行物の整理と寄贈

### 【支援や協力など】利用対応数:188(2023年4月1日～2024年3月31日)

閲覧、研究、研修、見学、問い合わせ、出版などの支援、協力の一部を以下に記す。

- ・奈良県磯城郡平野村総合調査(1947, 1951)資料のテキスト化支援
- ・「地域研究」に関する調査研究に協力した(梅棹の中東文化ミッション資料(1978)のデジタル化、資料目録作成)
- ・「梅棹忠夫」がテーマの論文(博士論文ほか)執筆の支援、協力(総研大研究生、外来研究員ほか)
- ・国内外の見学対応(美術館アーカイブズ担当、公立図書館スタッフ研修、国立台北芸術大学専任客座教授(台湾)、ボン大学名誉教授(ドイツ)、元文化省大臣で元国立アカデミー歴史学研究所教授(モンゴル、釜慶大学校助教授(韓国)ほか)
- ・梅棹に関する情報提供(書籍、記事などの寄贈)の対応

●創設 50 周年関連への協力

- ・みんなく創設準備室まで、創設準備室、創設直後などの資料の内容を点検、整理、整備
- ・創設 50 周年記念映像記録制作への協力
- ・過去に開催した映画会などのチラシ収集、『十年史』、『三十年史』リポジトリ掲載ほかへの協力・館史資料関係の保管など
- ・関連の共同研究会への協力

●みんなく「あるく、ウメサオタダオ展」への協力

キットの点検、劣化キット再制作に協力

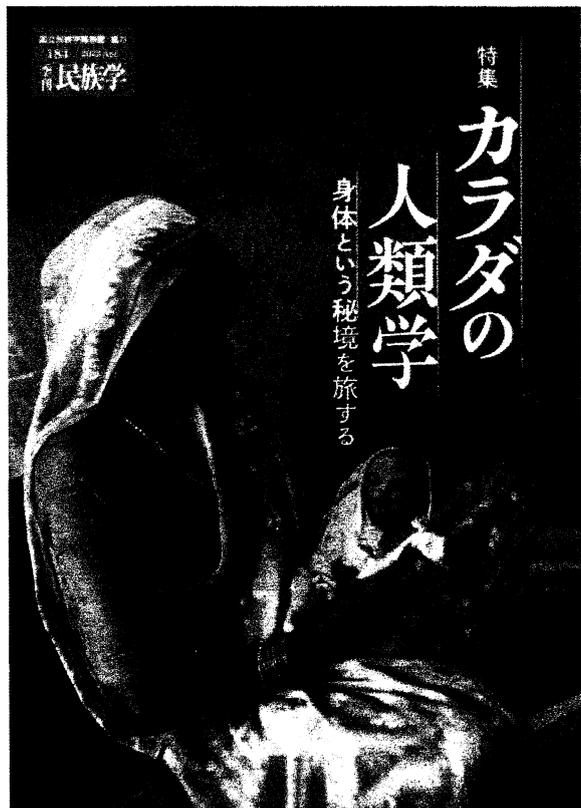
●室の事務業務と環境整備

事務業務の支援、協力、感染症への対策、室内の安全対策、什器類整備など

●著作権継承者（梅棹淳子氏）への連絡

著作や梅棹家所蔵写真の利用確認、みんなく関係の印刷物送付、事務連絡など

184号 (2023年4月30日発行)



184 2023 Apr. 民族学

【目次】

002	特集   カラダの人類学 —身体という秘境を旅する	070	フィールドワーカーの布張り、モノがたり 第2回 インドのアジュラク —地域社会における染色と職人の変化 金谷 英和
004	乳を通じたつながりの形成 —インドにおける母乳哺育と交感しあう身体 松尾 菊穂	072	日本万国博覧会記念公園のボジウム 2022 人類よ、どこへ行く？ ポストコロナの世界を占う Quo vadis, homini? 斎藤 真、新野 和典、山中 由里子、中島 隆博、 吉田 啓明、長村 一平、中牧 五兵衛
012	森の「お留守番」 —アフリカ狩猟採集民社会からケアを考える 戸田 真由子	022	描かれた身体 —浮世絵と絵巻に探る 安井 眞奈美
022	描かれた身体 —浮世絵と絵巻に探る 安井 眞奈美	022	ボクシングする身体 藤本 真佐夫
026	アメリカのファット・アクティビズムにみる 肥満問題と体型の多様性 佐藤 謙子	044	良い死、悪い死、普通の死 —ラオス低地農村部に暮らす人びとの死生観 若佐 光広
044	良い死、悪い死、普通の死 —ラオス低地農村部に暮らす人びとの死生観 若佐 光広	044	穴だらけの身体と精神 —イタリアの精神保健から見えるもの 佐崎 健
058	特別対談 体は全部わかっている —武道と身体知 内田 真/広瀬 浩二郎	表紙	インドの村で生れたばかりの赤ん坊を抱く母親 写真・文・松尾 菊穂

編集者 松尾 菊穂  
編集委員 斎藤 真、新野 和典、山中 由里子、中島 隆博、吉田 啓明、長村 一平、中牧 五兵衛、藤本 眞佐夫、佐藤 謙子、若佐 光広、戸田 真由子、安井 眞奈美、松尾 菊穂、内田 真、広瀬 浩二郎

185号 (2023年7月31日発行)



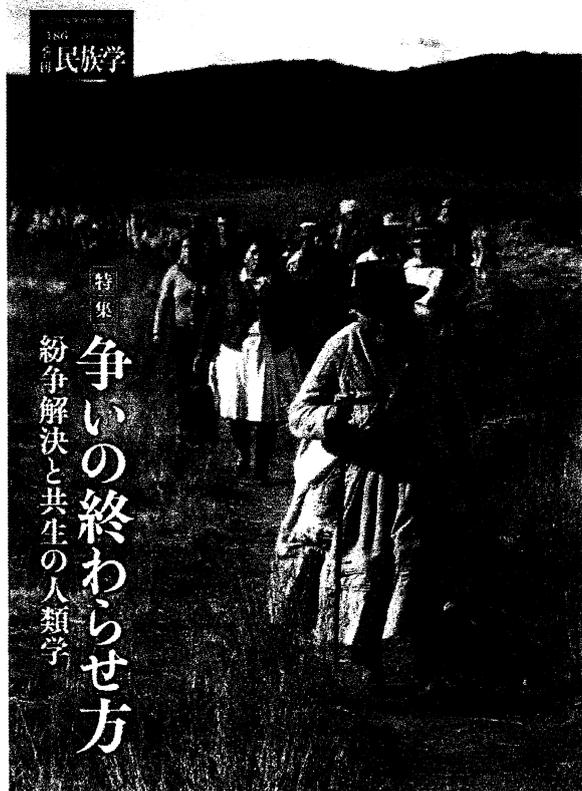
185 2023 Jul. 民族学

【目次】

003	特集   ビーズ大陸 アフリカ	064	ビーズ風、日本列島を駆けめぐる —民間からビーズの魅力と発掘 池谷 和樹
004	ビーズからみた 新たなアフリカ文化史 池谷 和樹	071	小山修三前理事長を悼む 「オーストラリア研究の今西錦司にちなむ」 館田 伸子
014	ビーズからみたナイル川流域世界 —エジプト、スーダンにおける過去と現在 渡藤 仁	077	三内丸山遺跡と山修三 岡田 康博
020	発掘が物語るアフリカのビーズ 竹村 尚一郎	080	キツネザルと人の2000年 市野 尚一郎
026	スタンリのビーズ —19世紀アフリカ大植民地の開拓、交易、 植民地支配 鈴木 実明	082	もうひとつの農業 —ネパール、インターネットの農の営みに学ぶ 藤井 牧人
032	サンルの恋愛とビーズ装飾 中村 香子	090	フィールドワーカーの布張り、モノがたり 第3回 女性の生活が変われば、 布も変わる —ウズベキスタンの刺繍布ヒスガニ 今堀 英典
038	ビーズ織工を仕事にする —ナイジェリア南西部ヨルバランドで生きる人びと 藤方 じろ平	表紙	初見目の恋愛の記憶と写すビーズの首飾り 写真・文・中村 香子
044	ナミビアのヒンバの儀礼とビーズ —ヘレロとの闘争から 宮本 純和	050	出稼ぎするアーティストたち —西アフリカのワイヤード・ビーズアート 北畠 憲利香
050	出稼ぎするアーティストたち —西アフリカのワイヤード・ビーズアート 北畠 憲利香	067	世界に発信するアフリカンビーズ 池谷 和樹

編集者 松尾 菊穂  
編集委員 斎藤 真、新野 和典、山中 由里子、中島 隆博、吉田 啓明、長村 一平、中牧 五兵衛、藤本 眞佐夫、佐藤 謙子、若佐 光広、戸田 真由子、安井 眞奈美、松尾 菊穂、内田 真、広瀬 浩二郎

186号 (2023年10月31日発行)



186 季刊 民族学

【目次】

063	<b>特集</b> <b>争いの終わらせ方</b> —紛争解決と共生の人類学	067	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ紛争にみる「争いを終わらせない方法」から学ぶ「争いの終わらせ方」 坂本 悠哉
064	暴力の連鎖を断ち切るための術 —ソロモン諸島における紛争処理の文化 藤井 真一	068	笑いの向こうにみる紛争と分断の経験 —北アイルランド・ベルファストの 日常経験の多面性 高木 朋子
072	アフリカの紛争の終わらせ方 —もうひとつの人間観にもとづく —知恵に学ぶ 松田 雅治	072	空手道の現代イラン的展開 松田 雅治
020	予言者は紛争を終わらせることができるか？ —南スーダンの蘇する予言 橋本 悠哉	080	中華とイスラームのはざままで —現代中国と生きる回族 谷川 雅史
026	「真実」の万華鏡 —ペルー真実和解委員会と平和構築 細谷 広実	088	死者の「存在」を刻む —ドイツ・ニュルンベルグに於ける死と贈与儀礼 門尾 一平
028	終わらない解決 —アルゼンチン・記憶の民衆運動 石田 智康	096	フィールドワーカーの布張り、モノがたり 第4回 ラオス北部、 タイ系民族の手織り布 —素材と技術への編織づけ 落合 雅野
028	過去との和解、インドネシアとの共生 —東ティモールでの「争いの終わらせ方」と そのジレンマ 井上 浩子		表紙、記憶をたづねる期 写真・文：細谷 広実
050	自治政府設立と紛争終結への 長い道のり —フリビエン 南部のモロ 石井 正子		編集者：落合 雅野 編集委員：坂本 悠哉、高木 朋子、藤井 真一、松田 雅治、谷川 雅史、石田 智康、門尾 一平、落合 雅野、橋本 悠哉、細谷 広実、井上 浩子、石井 正子 発行所：東京大学大学院文学部 〒113-8671 東京都文京区本郷7-3-1 発行部 庶務係 電話03-5841-3111 発行部 編集係 電話03-5841-3112 FAX 03-5841-3113 印刷所：東京大学印刷局

187号 (2024年1月31日発行)



187 2024 Jan. 季刊 民族学

【目次】

003	<b>特集</b> <b>境界をゆきから日本人</b>	072	南カリフォルニアの「日系企業城下町」 松 隆子
004	われら日本人、新世界と日本社会をゆきから 中野 弘九	078	軍靴からサンダルへ —日系インドネシア人一世の生涯 伊藤 雅彦
008	「日本人」の変遷とnikkeiの意味 —日系コミュニティと日本社会のちがひ 小嶋 茂	086	移民の送り出し船から、受け入れ船へ —みんなの日本語が多みぞくニオン・セフオン 曾根 嘉子
012	重層的な記憶の場へ —サンクト・ロサ洋館の発見と実考 徳川 幸典	088	神を招き、神と遊び、神を活かす —広島県庄原市東城町・西城町の地祭 松本 浩平
020	「帰国」の先にある日常と未来 —日系アメリカ人の子どもの教育 山本 純樹	096	フィールドワーカーの布張り、モノがたり 第5回 台湾先住民セチックと 三つの織り機 田中 由里菜
028	デカセギを伝える ジューニール・ワズダ		表紙、ハダシ—衣類と申請、衣装の終わり 写真：ジューニール・ワズダ
038	「終証」や「継証」に読む 日本在住の日本人たち アンジェロ・トリス		編集者：落合 雅野 編集委員：坂本 悠哉、高木 朋子、藤井 真一、松田 雅治、谷川 雅史、石田 智康、門尾 一平、落合 雅野、橋本 悠哉、細谷 広実、井上 浩子、石井 正子 発行所：東京大学大学院文学部 〒113-8671 東京都文京区本郷7-3-1 発行部 庶務係 電話03-5841-3111 発行部 編集係 電話03-5841-3112 FAX 03-5841-3113 印刷所：東京大学印刷局
046	踊るミドリチュード —アフリカ移民系移民のエイサーにみる笑いと誇り 城田 史		
054	三尾とカナガをめぐる移民文化の 新編化と次世代育成 河上 優子		
062	鉄条網のなかの盆踊り —アフリカ移民系移民の日本人と音楽・芸能 車福田 めい子		

## 2023 年度「国立民族学博物館友の会」講演会等 開催内容

## 1) 国立民族学博物館友の会講演会

2023 年度はアフターコロナへの移行が本格化し、会場での開催とともに引き続きオンライン配信を併用し、みんぱくゼミナールとの差別化を図った。

大阪【会場：国立民族学博物館

開催日時：毎月第 1 土曜日 13:30 ~14:40】

※ 講師の同意・許諾がえられた場合にかぎり、オンライン配信及びアーカイブ公開 (YouTube「友の会チャンネル」) をおこなった。



## ・ 第 535 回 4 月 1 日 (土)

【みんぱく名誉教授シリーズ】

「「巻き貝の神官墓」は語る——南米アンデス文明、成立過程の解明に迫る」／関雄二 (民博名誉教授)

参加人数：会場：会員 30 名、オンライン 29 名

2022 年にペルー北高地のラ・カピーヤ遺跡で、南米アンデス文明の成立過程の解明に迫る「巻き貝の神官墓」の発見があり、その墓の特徴や研究上の意義について考察した。

## ・ 第 536 回 5 月 6 日 (土)

【特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」関連】

「ラテンアメリカの民衆芸術——キュレーションの挑戦」／鈴木紀 (民博教授)

参加人数：会場：会員 18 名／一般 18 名、オンライン 34 名

特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」ができあがるまでのキュレーションの試行錯誤の過程について、普段はあまり語られることのない展示会の裏話をお話しいただいた。

## ・ 第 537 回 6 月 3 日 (土)

「文化の中でまもられるキツネザル

——マダガスカルにおける霊長類と人との関係」／市野進一郎 (民博特任助教)

参加人数：会場：会員 22 名／一般 1 名、オンライン 35 名

森林の消失が著しいマダガスカルにおける霊長類の保全について、マダガスカル南部の例を中心に、人びとが霊長類とどのようなかかわりをもって暮らしてきたかについて紹介いただいた。

## ・ 第 538 回 7 月 1 日 (土)

「つないでほどく——アイヌとシサム」／北原モcottウナシ (北海道大学教授、民博特別客員教員)

オンライン登壇、司会 齋藤玲子 (民博准教授)

参加人数：会場：会員 21 名／一般 3 名、オンライン 42 名

民族共生＝アイヌとシサム (和民族) の関係調整・和解を具体的に進めていくため、ふだんは意識しない自分の属性 (マジョリティ／マイノリティ) やルーツ、歴史との関わりについて理解を深めた。

## ・ 第 539 回 8 月 5 日 (土) ※オンライン配信なし

【コレクション展示「ハンターのみた地球」関連】

「人類の原点はハンターにあり！」／関野吉晴 (探検家)、池谷和信 (民博教授)

参加人数：会場：会員 53 名／一般 17 名

人類拡散の旅路を逆ルートからたどった探検家と、世界各地の狩猟採集社会の調査を続ける研究者が語り合い、ハンターをとおして人類の普遍性や未来について考えた。

## ・ 第 540 回 9 月 2 日 (土)

「パプアニューギニアの貝と石のお金の話」／門馬一平 (民博特任助教)

参加人数：会場：会員 17 名／一般 8 名、オンライン 45 名

パプアニューギニア・ミルンベイ州のルイジアード群島の人びとの交易を丹念にみつめ、資本主義とは違うもうひとつの経済、贈り物の世界について、最新の写真と映像を交えてご紹介いただいた。

- ・ 第 541 回 10 月 7 日 (土)
  - 【企画展「カナダ北西海岸先住民のアート——スクリーン版画の世界」関連】
  - 「アート制作から見た北アメリカ北西海岸先住民の社会・文化の変化」／岸上伸啓 (民博教授)
  - 参加人数：会場：会員 15 名／一般 4 名、オンライン 30 名
  - 北アメリカ北西海岸地域に住む先住民のトーテムポールやスクリーン版画の制作などから、アート制作と社会・文化の変化の関係について理解を深めた。
  
- ・ 第 542 回 11 月 4 日 (土)
  - 「有明海のウナギから考える、生態系の未来」／久保正敏 (民博名誉教授)
  - 参加人数：会場：会員 15 名／一般 3 名、オンライン 24 名
  - ニホンウナギの漁獲量減少は水辺生態系の劣化と連動するという問題意識の共有と、治水政策史を振り返り、生態系を保全する地産地消・循環型地域経済の活性化の事例として淀川流域で進む、天然ウナギ復活をねらった植林活動もご紹介いただいた。
  
- ・ 第 543 回 12 月 2 日 (土)
  - 【特別展「交感する神と人——ヒンドゥー神像の世界」関連】
  - 「ヒンドゥー神像の美と信仰—飾りつけをめぐる」／福内千絵 (大阪芸術大学非常勤講師)
  - 参加人数：会場：会員 25 名／一般 30 名、オンライン 36 名
  - ヒンドゥー教の信仰実践においてしばしば過剰に感じられるほど華やかに、そして香しく施される装飾。講演では、祭礼時の神像装飾の具体例や、香りの体験を交えながら、飾りつけが喚起する美と神と人との関係についてお話しいただいた。
  
- ・ 第 544 回 2024 年 1 月 6 日 (土)
  - 「もめごとの扱い方——21 世紀のガダルカナル島で平和について考える」／藤井真一 (民博助教)
  - 参加人数：会場：会員 16 名／一般 4 名、オンライン 44 名
  - ソロモン諸島ガダルカナル島での「民族紛争」と呼ばれる内戦について、「もめごとを収める」という観点から、内戦後の平和構築とソロモン諸島の紛争処理の文化について理解を深めた。
  
- ・ 第 545 回 2024 年 2 月 3 日 (土)
  - 「新たな知の創造に向けて」／宮前知佐子 (民博助教)
  - 参加人数：会場：会員 13 名／一般 1 名、オンライン 33 名
  - 最先端のツールを用いてデジタルドキュメンテーションが実施され、さまざまなタイプのデジタルデータを蓄積しつつある現代の博物館について紹介いただくとともに、これからの博物館の「情報」との向き合い方として、デジタル先進国と呼ばれる国での動向調査から得られた講師の知見を共有いただいた。
  
- ・ 第 546 回 2024 年 3 月 2 日 (土)
  - 「周縁から読み解く文明の形成——神殿と文明の関わりを探る」／松本雄一 (民博准教授)
  - 参加人数：会場：会員 24 名／一般 2 名、オンライン 36 名
  - アンデス文明の形成過程において、「周縁」が希少な財の流通に大きな役割を果たし、文明の形成に大きく寄与したという近年の考古学調査の成果について、調査のこぼれ話とともにご紹介いただいた。

#### 東京【会場：東京他】開催日時：不定期

- ・ 第 133 回 4 月 29 日 (土・祝)
  - 「インド洋西海域の奴隷制と奴隷交易」／鈴木英明 (民博准教授)
  - 参加人数：会場：会員 34 名／一般 9 名
  - インド洋西海域の奴隷交易と奴隷制について、現在に残る痕跡にも目を配りながら、過去と現在を往還しつつご講演いただいた。
  
- ・ 第 134 回 6 月 24 日 (土)
  - 「人はなぜ共に歌うのか？——インド山岳民族ナガの伝統ポリフォニーと共生社会」
  - ／岡田恵美 (民博准教授) 参加人数：会場：会員 49 名／一般 14 名
  - インド北東部・山岳民族ナガの農村社会での合唱を事例に、人はなぜ共に歌うのかという根源的な問いについて理解を深めた。

・第135回 9月17日(日)

【特別展「交感する神と人——ヒンドゥー神像の世界」関連】

「神になる人びと——南インド・ケララ州のテイヤム祭祀」／竹村嘉晃(平安女学院大学准教授)

参加人数：会場：会員29名／一般10名

南インド・ケララ州北部のテイヤム祭祀の祭儀空間で神霊と交感する村人の様子と、カーストの伝統的職業として神霊の役割を世襲的に受け継いできた「不可触民」たちの今日の姿をご紹介いただいた。

・第136回 2024年3月23日(土)

「生まれかわりを信じるということ——モンゴルの輪廻転生を巡る語りから」／島村一平(民博教授)

参加人数：会場：会員40名／一般11名

モンゴルの輪廻転生に関する普通の人びとの語りを通じて、気持ちに揺れをもちながらも人が死の悲しみを新たな生への喜びへと転換していく姿について、お話しいただいた。



## 2) 体験セミナー

・第84回「ヤウンモシリ(北海道)への旅——アイヌ民族、文化復興のいま」

期間：9/7(木)～10(日)

同行講師：齋藤玲子(民博准教授)

参加人数：会員24名

日本ではここ数十年のあいだに、アイヌ民族に関するさまざまな施策が推進された。4年ぶりに開催した現地滞在型の体験セミナーは、アイヌ民族の「文化復興のいま」に理解を深めることを目的に実施した。さまざまな立場から、アイヌ文化を支え、発信する方々と直接対話する機会を多く設けることで、アイヌ・和人の関係性やその歴史を振り返るばかりでなく、わたしたちそれぞれが多様な存在であることを見つめ直す機会が得られた。また文化・歴史が生まれた背景を知るために、自然史系の施設の訪問を盛り込んだことも好評だった。



・第85回「日本文化の多様性をさぐる——佐々木高明が歩いた九州の山村を訪ねる」

期間：11/23(木・祝)～25(土)

同行講師：池谷和信(民博教授)

参加人数：会員14名

焼畑研究の第一人者として知られるみんぱくの第二代館長・佐々木高明。彼の焼畑研究の原点となった熊本県五木村で、二度目となるみんぱくとの共催展示が開催された。この展示の会期中に、かつて焼畑を中心的な生業としてきた九州の山間地域を訪ねた。自然と調和した山間部の生業の知見にふれることを目的に、狩猟や養蜂を営む方、土地ならではの神楽舞に携わる方など、地元の方々との交流の機会を多く設けた。山間地域で出会った生業や食の知識に、都市部の暮らしとは異なる豊かさを感じるとともに、「日本文化の多様性」を実感する機会が得られた。また『季刊民族学』『焼畑の民』等、当財団の成果物を教材として生かすことができた。



## 3) みんなく見学会

- ・ 第 82 回 特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」  
2023 年 5 月 6 日（土）  
講師：鈴木紀（民博教授）  
参加人数：会員 22 名
- ・ 第 83 回 コレクション展示「ハンターのみた地球」  
2023 年 8 月 5 日（土）  
講師：池谷和信（民博教授）  
参加人数：会員 46 名／一般 12 名 計 58 名
- ・ 第 84 回 企画展「カナダ北西海岸先住民のアート——スクリーン版画の世界」  
2023 年 10 月 7 日（土）  
講師：岸上伸啓（民博教授）  
参加人数：会員 10 名／一般 1 名
- ・ 第 85 回 特別展「交感する神と人——ヒンドゥー神像の世界」  
2023 年 12 月 2 日（土）  
講師：福内千絵（大阪芸術大学非常勤講師）  
参加人数：会員 16 名／一般 18 名

## 4) 理事長サロン

中牧理事長主宰による、会員との交流、会員同士が交流するための機会として開催。

## ① 対面でのサロン

開催日：6 月 3 日（土）参加人数：9 名（場所：みんなくレストラン）

## ② オンラインサロン

開催日：11 月 19 日（日）参加人数：9 名

## ③ オンライン新年会

開催日：2024 年 1 月 14 日（日）参加人数：11 名

## 5) 午餐会

## 第 205 回 「茶の湯と社交」

2023 年 7 月 12 日（水）

講師：熊倉功夫（MIHO MUSEUM 館長、国立民族学博物館名誉教授）

コメンテーター：吉田憲司（国立民族学博物館長）

会場：ホテル阪急インターナショナル 4 階「花風」

参加人数：16 名

グローバル化による生活様式の多様化やコロナ禍などにより、社会における人と人のつながりの希薄化が進む現在、あらためて互いの信頼関係を築くための「社交」の重要性が再認識されている。茶の湯をめぐる社交文化をとおして、心豊かな人間関係の築き方について、茶の湯研究の第一人者に話題を提供いただいた。

## 6) アフターコロナへの移行、新型コロナウイルス感染症の余波により以下の事業は中止となった。

「民族学研修の旅」、「阪急生活楽校 講演会」

国立民族学博物館 特別展図録

特別展図録『交感する神と人—ヒンドゥー神像の世界』(2023年9月14日発行)

編者：三尾稔 発行：国立民族学博物館 編集協力：公益財団法人千里文化財団

本文 200 頁 B5 変形 定価 2,750 円 (本体価格+税)

さまざまなモノに現れるヒンドゥー教の神がみの姿や、神と人との交流のありさまを多角的に紹介し、人びとが神がみにささげる愛や願いのかたちに迫る。ヒンドゥー教のなりたちの概説や、ヒンドゥー神像にまつわる書き下ろしエッセイ 13 篇も収録した、ヒンドゥー教の神がみの世界へいざなう一冊。



みんぱく創設 50 周年記念 特別展図録『日本の仮面——芸能と祭りの世界』（2024 年 3 月 28 日発行）  
 編者：笹原亮二 発行：国立民族学博物館 編集・デザイン：公益財団法人千里文化財団  
 本文 192 頁 A4 判 定価 2,090 円（本体価格+税）

国内各地には、仮面がさまざまなかたちで用いられ、重要な役割を果たしている芸能や祭りが伝えられている。本著では約 600 点の日本の仮面をカラー写真で掲載。書き下ろしエッセイ 6 篇も収録し、多様性に富む日本の仮面のあり様を紹介。

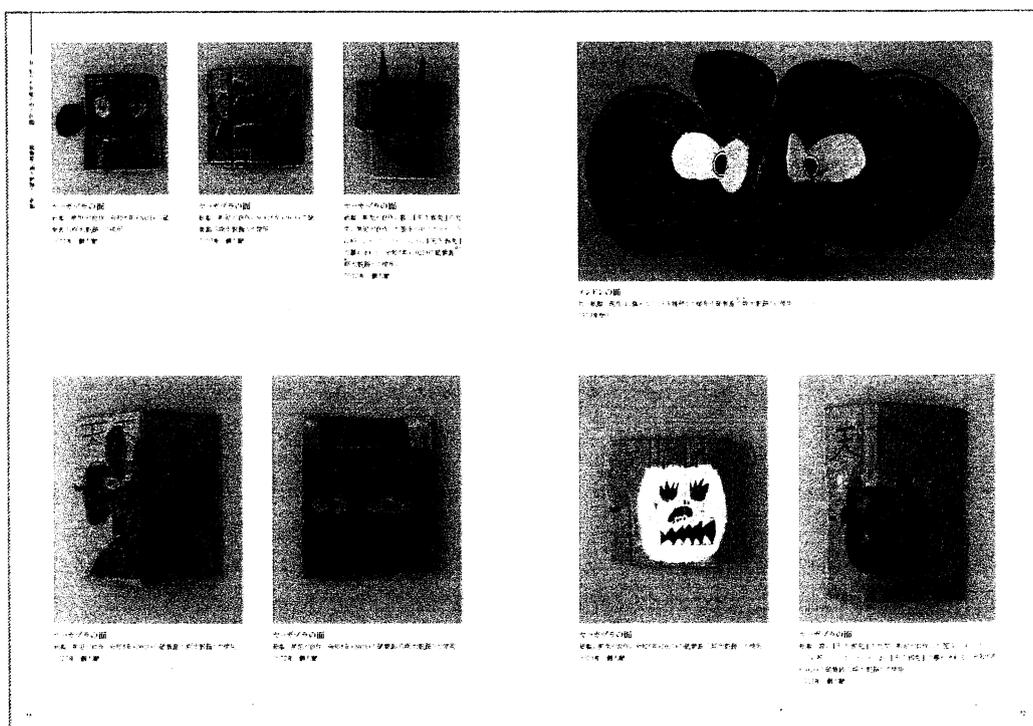
2024 年 3 月 28 日 開館 50 周年記念特別展 | A Special Exhibition for the 50th Anniversary of the Museum's Founding

# 日本の仮面 芸能と祭りの世界

Masks in the Performing Arts and Festivals of Japan

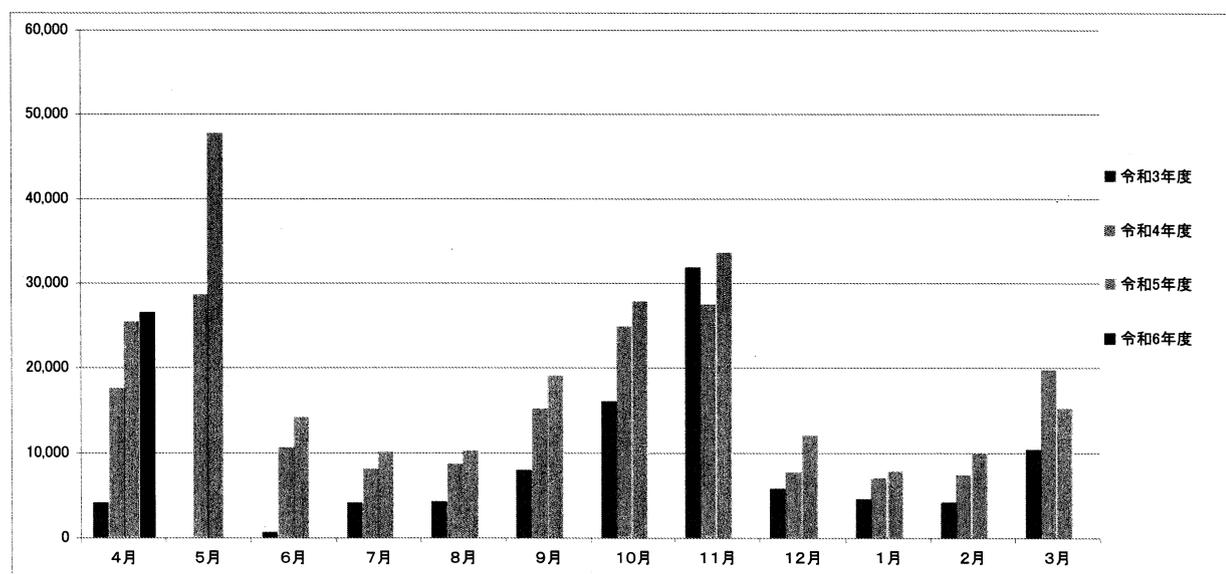


国立民族学博物館

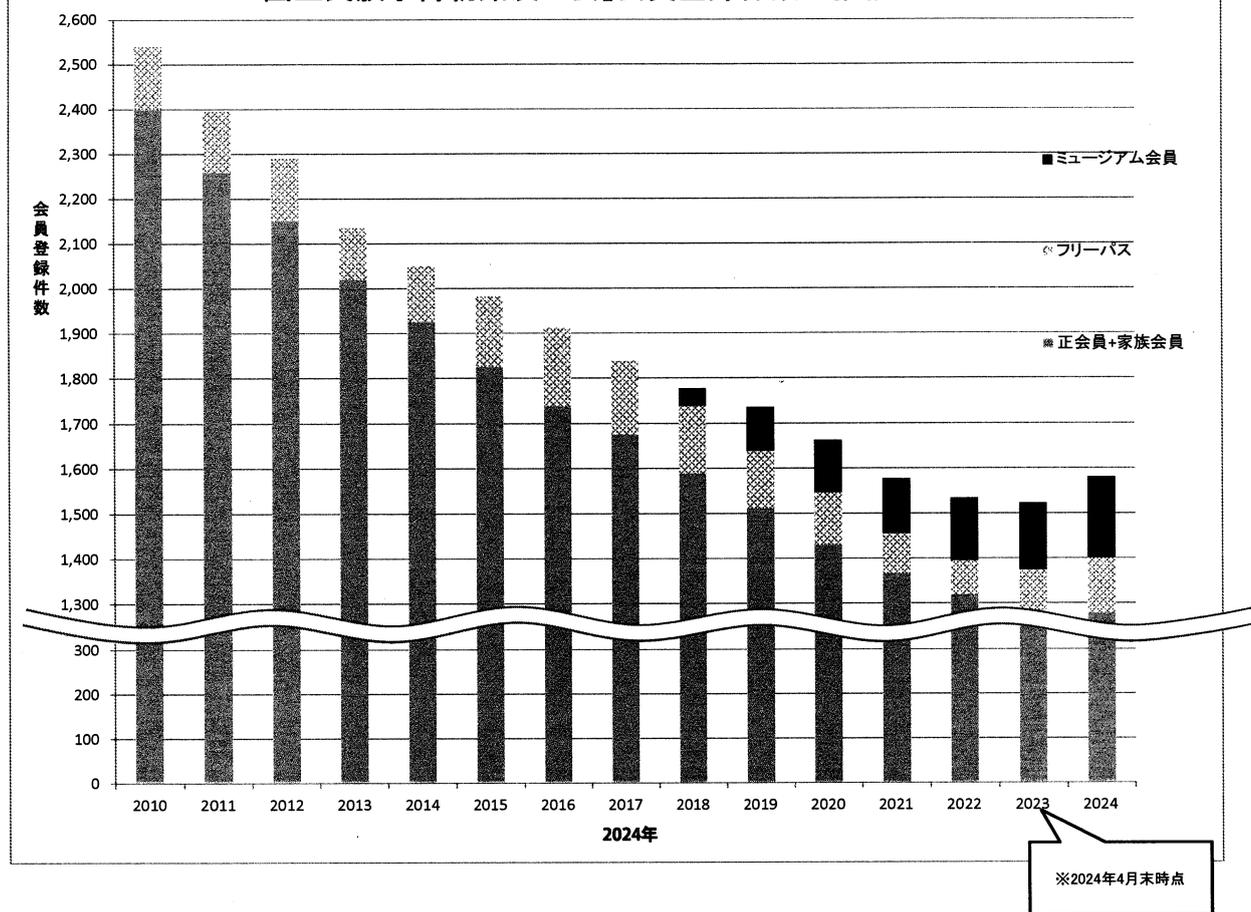


国立民族学博物館入館者数（総数）比較表 令和3年度～令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数	3月までの累計
令和3年度	4,169	0	666	4,184	4,286	8,017	16,087	31,900	5,815	4,615	4,262	10,437	94,438	94,438
令和4年度	17,578	28,631	10,632	8,179	8,787	15,283	24,920	27,530	7,783	7,103	7,498	19,886	183,810	183,810
令和5年度	25,482	47,754	14,213	10,144	10,300	19,122	27,877	33,601	12,075	7,834	9,971	15,276	233,649	233,649
令和6年度	26,548												26,548	26,548



「国立民族学博物館友の会」会員登録件数の推移



「国立民族学博物館友の会」会員登録件数の推移 (正会員、家族会員、ミュージアム会員、準会員、フリーパス)

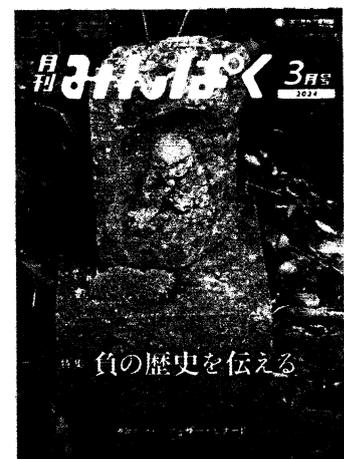
年	会員種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均	増減数(件)	増減率(%)
2015	正+家族+準	1,818	1,880	1,902	1,793	1,839	1,835	1,854	1,857	1,806	1,827	1,794	1,710	1,826		
	フリーパス	151	157	157	151	147	132	158	159	154	168	170	170	156		
	合計	1,969	2,037	2,059	1,944	1,986	1,967	2,012	2,016	1,960	1,995	1,964	1,880	1,982	-68	-3
2016	正+家族+準	1,772	1,796	1,688	1,728	1,750	1,745	1,775	1,776	1,743	1,750	1,703	1,641	1,739		
	フリーパス	174	179	169	175	180	178	176	173	164	171	172	175	174		
	合計	1,946	1,975	1,857	1,903	1,930	1,923	1,951	1,949	1,907	1,921	1,875	1,816	1,913	-70	-4
2017	正+家族+準	1,703	1,719	1,630	1,667	1,704	1,694	1,709	1,700	1,671	1,693	1,644	1,574	1,676		
	フリーパス	168	176	171	169	167	166	154	159	156	152	161	156	163		
	合計	1,871	1,895	1,801	1,836	1,871	1,860	1,863	1,859	1,827	1,845	1,805	1,730	1,839	-74	-4
2018	正+家族+準	1,624	1,641	1,554	1,589	1,616	1,616	1,622	1,616	1,583	1,590	1,540	1,481	1,589		
	フリーパス	159	153	160	159	150	148	143	131	166	146	146	152	151		
	ミュージアム			9	16	24	34	35	35	43	50	56	67	37		
	合計	1,783	1,794	1,723	1,764	1,790	1,798	1,800	1,782	1,792	1,786	1,742	1,700	1,771	-67	-4
2019	正+家族	1,552	1,547	1,457	1,492	1,514	1,524	1,544	1,535	1,517	1,526	1,495	1,434	1,511		
	フリーパス	135	128	130	128	122	121	118	126	127	125	139	141	128		
	ミュージアム	75	79	84	91	96	99	100	97	101	104	114	125	97		
	合計	1,762	1,754	1,671	1,711	1,732	1,744	1,762	1,758	1,745	1,755	1,748	1,700	1,737	-34	-2
2020	正+家族	1,494	1,496	1,419	1,429	1,441	1,438	1,447	1,434	1,409	1,424	1,393	1,334	1,430		
	フリーパス	134	137	122	105	104	104	108	114	122	131	114	112	117		
	ミュージアム	123	125	125	123	119	116	114	114	109	110	106	110	116		
	合計	1,751	1,758	1,666	1,657	1,664	1,658	1,669	1,662	1,640	1,665	1,613	1,556	1,663	-74	-4
2021	正+家族	1,391	1,394	1,306	1,342	1,363	1,364	1,396	1,394	1,381	1,389	1,361	1,312	1,366		
	フリーパス	115	107	104	92	85	88	88	88	85	76	76	70	90		
	ミュージアム	110	114	116	123	123	123	123	126	118	120	124	137	121		
	合計	1,616	1,615	1,526	1,557	1,571	1,575	1,607	1,608	1,584	1,585	1,561	1,519	1,577	-86	-5
2022	正+家族	1,367	1,377	1,361	1,316	1,325	1,327	1,333	1,324	1,294	1,283	1,228	1,280	1,318		
	フリーパス	56	61	63	72	77	79	78	77	79	89	95	96	77		
	ミュージアム	141	140	134	136	144	138	138	136	139	136	137	139	138		
	合計	1,564	1,578	1,558	1,524	1,546	1,544	1,549	1,537	1,512	1,508	1,460	1,515	1,533	-44	-3
2023	正+家族	1,280	1,290	1,199	1,234	1,261	1,289	1,292	1,308	1,295	1,309	1,276	1,235	1,272		
	フリーパス	96	61	97	93	96	102	105	111	114	113	116	124	102		
	ミュージアム	139	140	143	145	148	154	148	145	143	152	152	163	148		
	合計	1,515	1,491	1,439	1,472	1,505	1,545	1,545	1,564	1,552	1,574	1,544	1,522	1,522	-11	-1
2024	正+家族	1,283	1,313	1,243	1,269									1,277		
	フリーパス	121	126	126	124									124		
	ミュージアム	170	185	180	183									180		
	合計	1,574	1,624	1,549	1,576	0	0	0	0	0	0	0	0	1,581	58	4

※フリーパス: 2009年9月開始 ※準会員: 2018年3月末終了 ※ミュージアム会員: 2018年4月開始(友の会制度一部改定: 正会員同伴者1名入館可)  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、2020年2月28日～6月17日臨時休館。維持会員と正会員は希望者に5か月の特別フリーパスを発行、フリーパス会員は有効期限を5か月延長。  
 ※大阪府北部地震により、2018年6月18日～8月22日臨時休館。8月23日～9月12日一部再開。ミュージアム会員とフリーパス会員は有効期限を3か月延長。  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、2020年2月28日～6月17日臨時休館。  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、2021年4月25日～6月22日臨時休館。





国立民族学博物館広報誌『月刊みんぱく』(2023 年度発行表紙)



2024年国立民族学博物館オリジナルカレンダーご案内チラシ

2024年国立民族学博物館オリジナルカレンダー



# ミュージアムで 世界と出会う

2024年の国立民族学博物館オリジナルカレンダーは、創設50周年を記念して、常設の本館展示から選びました。みんなの研究者たちが50年かけて収集したモノをとおして、世界と出会ってみませんか。

定価 1,430円(税込)

- ◆サイズ 25cm×25cm(開くとタテ50cm×ヨコ25cm) オールカラー 28頁 中綴じ
- ◆通信販売の場合、別途発送手数料が必要です

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ、  
オンラインショップでもご購入いただけます。



国立民族学博物館友の会 会員の方は特別価格にてご購入いただけます。

国立民族学博物館友の会 会員価格 1冊 1,287円(税込)

5冊以上まとめてご購入の場合は、1冊 1,144円(税込)

- ◆通信販売の場合、別途発送手数料が必要です。

お問い合わせ

国立民族学博物館ミュージアム・ショップ e-mail: [shop@nenri-f.or.jp](mailto:shop@nenri-f.or.jp) 営業時間10:00~17:00 水曜日定休  
オンラインショップ「World Wide Bazaar」 <https://www.nenri-f.or.jp/shop/>

## 版画展「田主誠 ミュージアム・オブ・ドリームス」開催報告

1. 名称：版画展「田主誠 ミュージアム・オブ・ドリームス — みんなくと歩んだ版画家の創作世界」

### 2. 開催概要：

国立民族学博物館（以下、みんなく）開館時、事務官として着任した版画家・田主誠（1942-2023）は、『月刊みんなく』の挿画（「民話の世界」「民族博物誌」）、旧『民博通信』の挿絵（「民博百景」）、『千里眼』の表紙画のほか、みんなくの研究者とコラボレーションした新聞や雑誌へ（『おおさかの民家』『食の世界地図』『会社じんるい学』『おはなし村』『おはなし島』『おはなし博物館』ほか）を数多くの作品を手掛けてきた。みんなくの特別研究の成果本（『現代日本文化における伝統と変容』全9巻）や初代館長・梅棹忠夫はじめ、みんなく研究者の著書の装丁、装画なども多数ある。また、独自の創作活動としても、みんなくに展示・收藏されている世界の仮面をモチーフにした版画作品群（仮面シリーズ）が数百点におよぶ。退職後も、南太平洋や東南アジア、北米など世界各地を旅して、現地の人びとの生き生きとした姿の創作作品を数多く制作。みんなく創設50周年を2024年に迎えるにあたり、その歩みをたどるイベントとして、開館当初からともに歩み、みんなくから広がった国内外の交流・体験を通して構築された、田主誠の創作世界を紹介した。

第1期（9月7日～10月3日）、第2期（10月5日～31日）、第3期（11月2日～28日）、3期に分けて作品を入れ替え、版画作品総数153点を展示し、向かいの休憩コーナーには、新聞に連載された膨大な作品の閲覧ファイルを用意し、大型モニターではスライドショー「田主誠 作品制作の舞台裏」を放映した。会期中には、テレビや新聞記事等にも取りあげられ、遠方からの来館者も多く、様々な作品を通して、民博の魅力と歩みについて知っていただく機会を提供できた。国立民族学博物館広報誌『月刊みんなく2023年10月号』に掲載。

3. 開催期間：9月7日（木）～11月28日（火）10時～17時 ※期間中の本館入館者数：42,197名

4. 会場：国立民族学博物館 本館1階 エントランスホール（無料ゾーン）

5. 展示内容： 1) 版画の展示 ①『月刊みんなく』の「民話の世界」「民族博物誌」掲載作品  
②旧『民博通信』の「民博百景」掲載作品  
③新聞連載「おおさかの民家」「食の世界地図」「会社じんるい学」「田主誠のたのし旅」「世界のこども夢気球」など  
④「世界の仮面」シリーズ  
⑤その他「民族学いろはかるた」、民族学関連書籍装画作品など  
2) 関連書籍及び雑誌記事などの閲覧コーナー 3) スライドショー

6. 主催：公益財団法人千里文化財団

7. 協力：国立民族学博物館、編集工房 is

8. 後援：茨木市、舞鶴市、NHK大阪放送局、京都新聞、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

9. 広報実績：新聞掲載記事 - 産経新聞9月14日（木）、京都新聞8月31日（木）、9月15日（金）、  
読売新聞9月30日（土）夕刊、毎日新聞10月19日（木）

テレビ - NHK「ぐるっと関西おひるまえ」9月8日（金）

ラジオ - NHKラジオ第1放送「関西ラジオワイド」11月7日（火）



## 出前授業プログラムの実施報告(2023年度)

### 1) 事業の趣旨

国立民族学博物館に集積された資料や情報を活用した出前授業プログラムの企画・開発する。開発したプログラムは、学校や公共施設、巡回展巡回先施設等において実施し、小学生から大人まで幅広い世代の方々に世界の文化に触れることができる場を提供するとともに、博物館活動の広報普及に貢献する。実施するプログラムでは、体験や交流を取り入れ、楽しみながら世界の多様な文化を学ぶ。

### 2) 2023年度の活動概要

2023年度は下記のプログラムを実施した。

(1)「ビーズで世界とつながろう—ペーパービーズ作りに挑戦！」

(2)「いちまい布を使ってみよう！—世界の一枚布・日本のふろしき」

※(1)では昨年度同様、民博(企画課博物館事業係)所有のペーパービーズワークショップ資料の借用等の協力を得て、プログラムを実施した。

### 3) 2023年度の活動実績

#### ①「ビーズで世界とつながろう—ペーパービーズづくりに挑戦—」

・6月13日(火) 出前授業 対象: PTA 保護者(大人) 参加人数: 10名

依頼団体: 茨木市立郡小学校家庭教育学級すずめの学校

訪問先: 茨木市立郡小学校(茨木市郡5丁目26-23)

・6月24日(土) 出前授業 対象: 小学生 参加人数: 28名

依頼団体: JICA 関西(滋賀)

訪問先: 長浜まちづくりセンター(滋賀県長浜市高田町12番34号)

・7月2日(日) 出前授業 対象: 小学生以上 参加人数: 20名

依頼団体/訪問先: 久御山町立図書館(京都府久世郡久御山町佐古外屋敷235)

・8月18日(金) 出前授業 対象: 小学生以上 参加人数: 15名

依頼団体: こんこんひろば(京都府南丹市任意団体)

訪問先: うずまきカフェ(京都府南丹市園部町宮町61 うずまき b1g.1階)

・8月27日(日) 出前授業(館内ワークショップ) 対象: 小学生 参加人数: 17名

依頼団体: 茨木市郡山子ども会

実施場所: 国立民族学博物館第7セミナー室

#### ②「いちまい布を使ってみよう！—日本のふろしき、世界のいちまい布」

・12月17日(日) 出前授業 対象: 小学生 参加人数: 20名

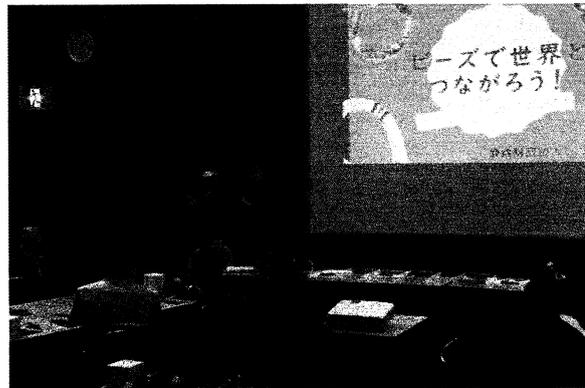
依頼団体: JICA 関西(奈良)

訪問先: 奈良県社会福祉総合センター(奈良県橿原市大久保町320番11)

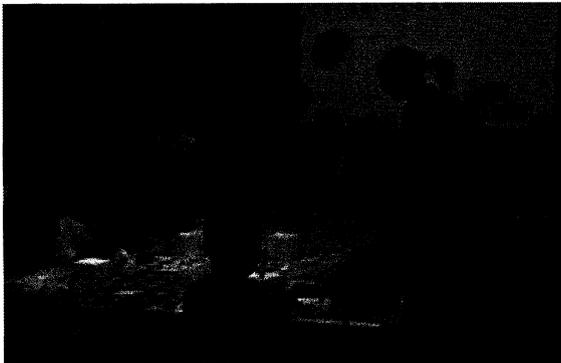
3) 活動の様子



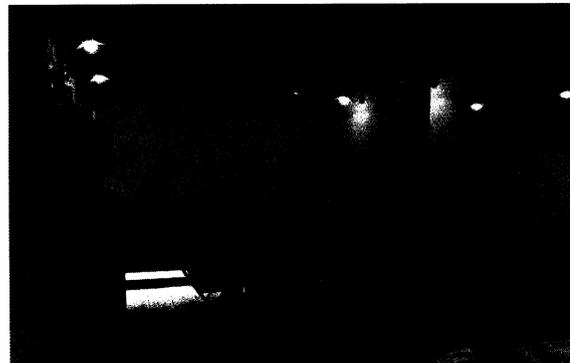
茨木市立郡小学校家庭学級すすめの学校「ペーパービーズ」



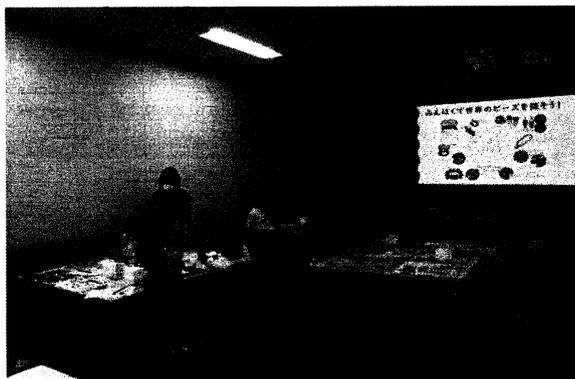
久御山町立図書館「ペーパービーズ」



JICA 関西 (滋賀)「ペーパービーズ」



こんこんひろば「ペーパービーズ」



茨木市郡山子ども会「ペーパービーズ」  
民博第7セミナー室でのワークショップの様子



ペーパービーズブレスレットにストラップを付けた例 (茨木市郡  
山子ども会)



JICA 関西 (奈良)「いちまい布」  
風呂敷 (真結び) のレクチャー

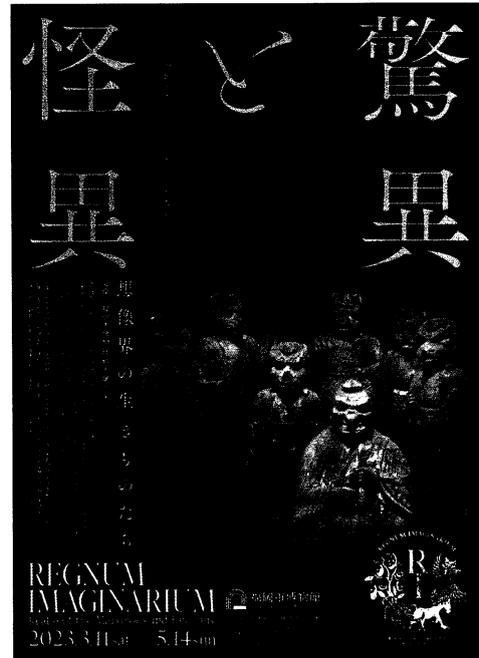


JICA 関西 (奈良)「いちまい布」  
アフリカ布の試着体験

## 国立民族学博物館巡回展「驚異と怪異」開催報告

1. 名称 「驚異と怪異——想像界の生きものたち」
2. 概要 ヨーロッパや中東においては、犬頭人、一角獣といった不可思議ではあるが実在するかもしれない「驚異」は、自然誌の知識の一部として伝えられた。また、東アジアにおいては、奇怪な現象や異様な物体を説明しようとする心の動きが、「怪異」を生み出した。本展示では、常識や慣習から逸脱した「異」なるもの（異境・異人・異類）をめぐる人間の心理と想像力の働き、言説と視覚表象物の関係を解明するとともに、人間の想像力と環境の相関関係を究明する。

具体的には、人魚、龍、河童、天狗、狼男など、この世のキワにいるかもしれないと信じられていた驚異や怪異にまつわる絵画、書籍、民族資料などの展示をおこなった。また、会場である九州に関連する民俗資料を追加した。

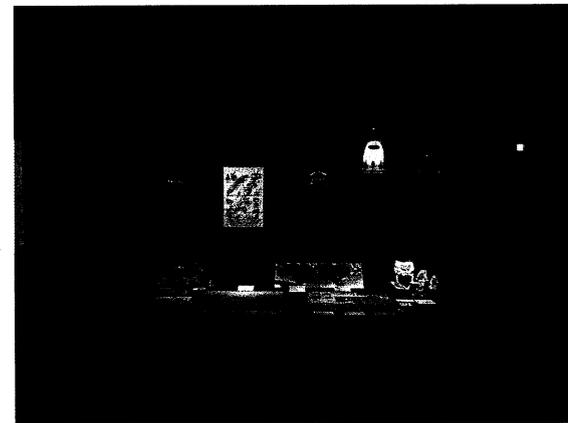
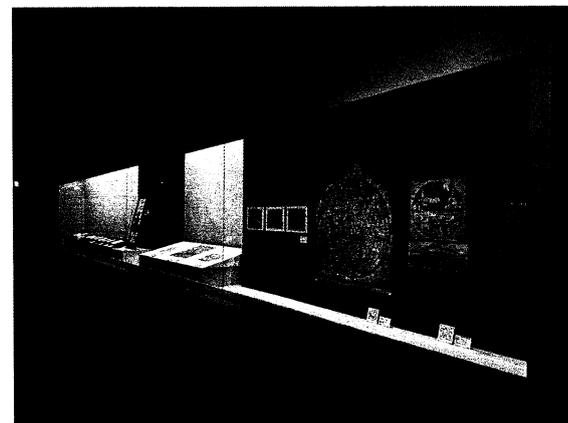
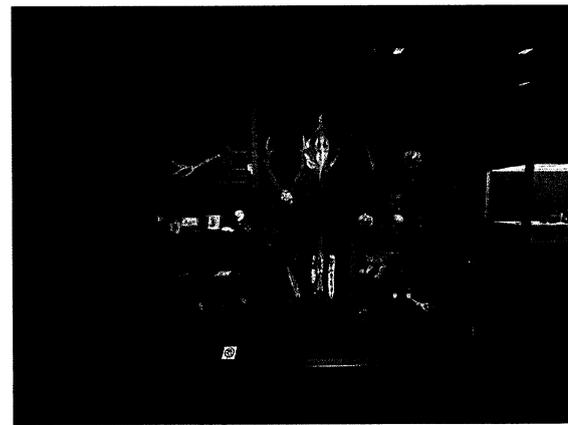
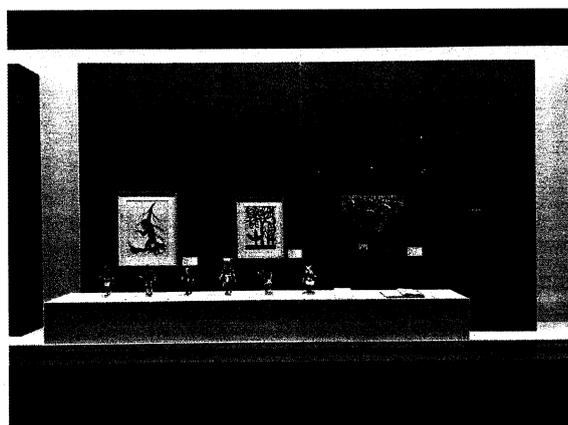


3. 主催 福岡市博物館、国立民族学博物館、  
公益財団法人千里文化財団、テレQ、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス
4. 協賛 有限会社ももち浜調剤薬局
5. 後援 福岡市教育委員会、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、西日本鉄道
6. 開催期間 3月11日（土）～5月14日（日）【会期56日間】
7. 開館時間 午前9時から午後5時30分（入館は午後5時まで）
8. 休館日 毎週月曜日
9. 会場 福岡市博物館 2階特別展示室〔1200㎡〕〈福岡市早良区百道浜3丁目1-1〉
10. 展示資料数 390点
11. 観覧料 一般1600円（1400円）、中高生1200円（1000円）、小学生800円（600円）  
※（）内は前売料金
12. 入館者数 23,006名
13. 関連イベント
  - 記念講演会「驚異と怪異への誘い—人はなぜモンスターを想像するか」  
会場：福岡市博物館 1階講堂  
日時：3月11日（土）13:30～15:00  
定員：240名（聴講無料）\*本展観覧券提示要  
参加数：152名
  - 民博×市博クロストーク  
会場：福岡市博物館 2階特別展示室  
日時：4月22日（土）13:30～14:30  
参加数：90名

## 14. 広 報

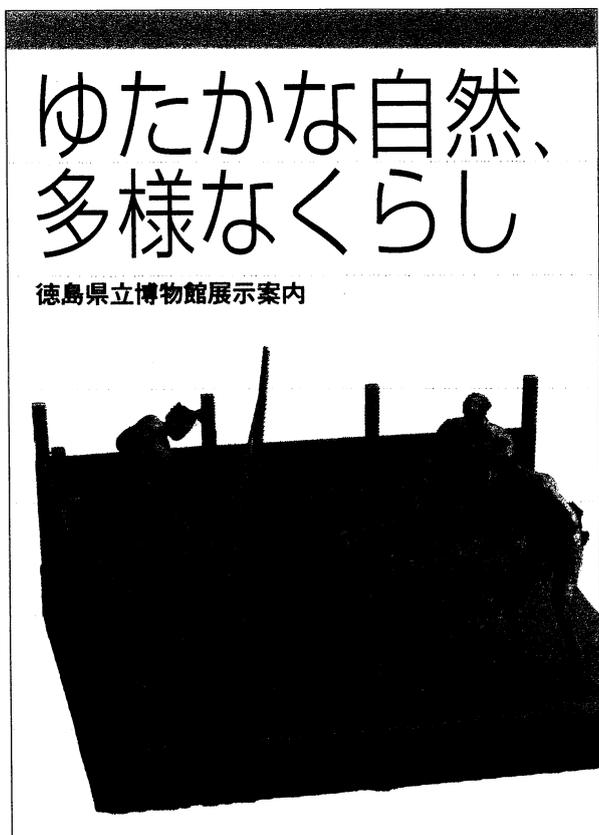
メディア	媒体	掲載日/放送日
Web	よかナビ	2月6日公開
Web	ふくおかサポートねっと	2月15日公開確認
Web	JAF ナビ	2月28日公開
Web	potari	2月8日公開
Web	アートアジェンダ	2月中旬公開
Web	個展なび	2月中旬公開
Web	九州サイト	2月下旬公開
Web	ながさきプレス	3月1日公開
Web	JDN	3月2日公開
Web	Fashion Press	3月9日公開
Web	インターネットミュージアム	3月30日公開
Web	リビングふくおか・北九州 Web	4月1日公開
Web	ARTNE	4月7日公開
Web	Walker プラス	4月12日公開
隔月刊誌	ライフさせぼ 99 NINETY NINE VIEW	2・3月号
月刊誌	マイタウン 西新・姪浜	3月1日
月刊誌	マイタウン 伊都	3月1日
月刊誌	美術の窓	3月号
月刊誌	月刊はかた	4月号
月刊誌	芸術新潮	5月号
広報誌	ぐらんざ	3月1日
広報紙	KSC(久留米広域勤労者福祉サービスセンター) ニュース	2・3月号
広報紙	市政だより	3月号
広報紙	ホットペッパー久留米	4月号・5月号
新聞	地元新聞 朝倉・うきは・田主丸版	2月26日・3月26日
新聞	地元新聞 日田市版	3月5日・3月19日
新聞	西日本新聞(朝刊・夕刊)、西日本スポーツ	2月15日~5月11日
テレビ	CM(TVQ)	1月28日~5月14日
テレビ	はっけんTV(NHK)	3月7日
ラジオ	FM福岡「Lunch Time SHOW Windows feat. 森保まどか」	3月10日放送

展示風景



徳島県立博物館 展示案内『ゆたかな自然、多様なくらし』（2024年3月1日発行）

1982年より日本生命財団の博物館展示案内出版助成による各地の博物館展示案内の編集協力をおこなっている。（地域文化の振興・青少年の文化教育に資するため、全国各地の博物館の協力を得て各博物館の展示案内を出版する事業）



ゆたかな自然、  
多様なくらし

徳島県立博物館展示案内

目次

徳島県立博物館について…………… 5頁から  
利用案内…………… 6頁から

徳島のなりたち…………… 2  
四國の土台…………… 3  
阿波國の誕生…………… 6  
徳島県の成立…………… 7

ゆたかな自然と多様なくらし…………… 8  
多様な山地の環境に生きる…………… 10  
山頂の生きもの 10 里山と森の生きもの 11 山のくらしと信仰 12  
山に生きる 14  
川の生きものとおびとのくらし…………… 16  
吉野川 17 那賀川 22 海部川 23  
海の生きものとおびとのくらし…………… 24  
播磨灘 25 紀伊水道 26 太平洋 28  
おびとのくらしと「まち」…………… 30  
阿波国府と寺院 31 「まち」の形成と都市 藤塚 32  
城下町徳島と繁栄 33 都市の繁栄と戦争 36

常設展示「いのち」と「とき」のモノ語り…………… 38  
①徳島恐竜コレクション 40 ②地質時代の徳島 42 ③先史・古代の徳島 43  
④中世の徳島 44 ⑤近世の徳島 45 ⑥近現代の徳島 46  
⑦徳島のまつりと芸能 47 ⑧徳島の自然とくらし 48 ⑨自然史コレクション 49  
⑩歴史・文化コレクション 49 ⑪県民コレクション 49  
⑫地球と生命の歴史 50 ⑬生物の多様性 52  
交流拠点としてのコミュニケーションゾーン 54

みんなでつくる博物館…………… 56

コラム  
本地師 16 吉野川と阿波灘 20 名勝としての備前 27 阿波講りの種彦 37  
恐竜発掘モノ語り 41 和泉屋敷と化石 42

◎写真撮影：藤原武、神村みづほ  
◎図解解説の文書に「ある文書は、徳島県立博物館蔵または所蔵、ほかの文書提供者は著述、明示した  
図解解説の文書は所蔵館の「あり」は、所蔵、所蔵、所蔵とを必要に応じて掲載した。  
◎編者名・解説者名は付録「あり」は、所蔵、所蔵、所蔵とを必要に応じて掲載した。  
本展示案内は、公益財団法人日本生命財団の出版助成を得て発行された。

■過去の実績内容

- 1) 北海道博物館 展示案内『北東アジアの十字路』（2023年3月1日発行）
- 2) 滋賀県立琵琶湖博物館 展示案内『古代湖とともに生きる』（2022年3月1日発行）
- 3) 愛媛県総合科学博物館 展示案内『山と海が育てた愛媛の産業』（2021年3月1日発行）
- 4) ふくやま草戸千軒ミュージアム（広島県立歴史博物館）展示案内『瀬戸内の交流—まちのにぎわい  
人のつながり』（2020年2月20日発行）
- 5) 島根県立三瓶自然館 展示案内『峰々の記憶をたどって』（2019年3月1日発行）
- 6) フォッサマグナミュージアム 展示解説『フォッサマグナってなんだろう』第5版（2019年7月30日発行）
- 7) 『北海道立北方民族博物館 総合案内』第6版（2019年12月31日発行）
- 8) 東北歴史博物館 展示案内『共生と対立—海と大地をめぐる物語』（2018年2月23日発行）
- 9) 九州歴史資料館 展示案内『交流のかなめ ふくおか』（2017年2月20日発行）

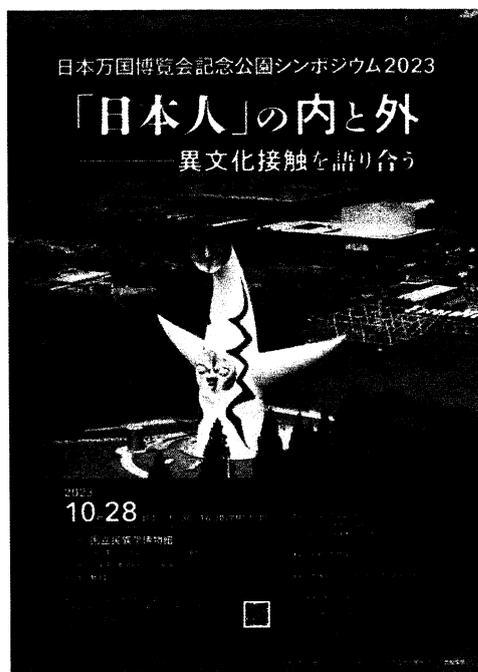
※2016年以前は省略

## 2025 年大阪・関西万博関連シンポジウム 開催報告

1. 名 称：日本万国博覧会記念公園シンポジウム 2023  
『日本人』の内と外—異文化接触を語り合う

2. 開催概要：2025 年大阪・関西万博の開催を控え、本シンポジウムでは、1970 年大阪万博およびそれ以後の 50 年間の日本における異文化接触とその受容のあり方を検証し、日本人にとっての「内」と「外」の認識をあらためてふりかえるとともに、これからの時代に求められる私たちの 世界とのかかわり方について議論した。4 名の研究者が異文化接触をキーワードに、さまざまな視点から活発な議論を繰り広げ、ステレオタイプの観念をなくす機会や、多様性を尊重する場として、万博のもつ重要な意義を再認識するシンポジウムとなった。当時の日本人が異文化を受容した 1970 年大阪万博の直接的、間接的な影響について検証し、万博開催の意義について熟議することにより、「いのち輝く未来社会」をテーマに掲げる 2025 年大阪・関西万博の開催に向けた機運醸成の取り組みとして貢献することができた。また、1970 年大阪万博が生み出した 2 大レガシーである万博記念公園（大阪府）と国立民族学博物館が協働で開催することにより、万博レガシーについて周知し、地域の文化資産としての存在意義を高めることにも貢献した。

※「季刊民族学」188 号に報告を収録。



3. 開催日：10月28日（土）13：30～16：30（13時開場）

4. 会場：国立民族学博物館 本館みんぱくインテリジェントホール

## 5. プログラム：

13:30 主催者挨拶：中牧弘允（千里文化財団理事長）

13:40 シンポジウム開催にあたって：吉田憲司（国立民族学博物館長）

14:00 講演 1 「大阪と博覧会イメージ—成功体験はくり返すか、第 5 回内国勧業博から EXPO' 70 へ」  
橋爪 節也 大阪大学名誉教授

14:20 講演 2 「京都と万国博覧会」  
井上 章一 国際日本文化研究センター所長

14:40 講演 3 「万博でアフリカから何が学べるのか？」  
ウスビ・サコ 京都精華大学 全学研究機構長  
休憩（10 分間）

15:10 パネルディスカッション  
パネリスト： 橋爪 節也、井上 章一、ウスビ・サコ  
ファシリテーター：吉田憲司

16:30 閉幕

6. 開催方式：オンライン方式+会場参加（会場参加のみ事前申込制）

7. 参加費：聴講は無料

8. 主催：公益財団法人千里文化財団

9. 共 催：大阪府、国立民族学博物館

10. 協 力：国立大学法人大阪大学、公益財団法人大阪日本民芸館、  
公益財団法人関西・大阪 21 世紀協会、大阪モノレール株式会社、  
万博記念公園マネジメント・パートナーズ、

11. 後 援：公益財団法人 2025 年日本国際博覧会協会、吹田市、NHK 大阪放送局

12. 聴 講 者：会場 118 名 ※登壇者、運営スタッフをのぞく。  
オンライン 74 名 ※視聴人数最大時。

同人誌『千里眼』（2023 年度発行表紙）

162 号（2023 年 6 月 25 日発行）

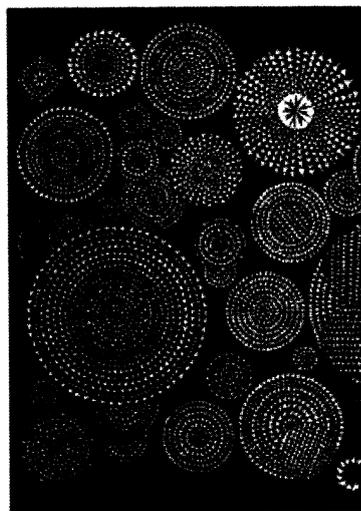
千里眼



no.162 2023

163 号（2023 年 9 月 25 日発行）

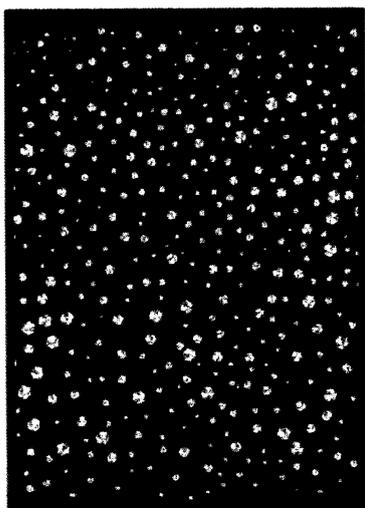
千里眼



no.163 2023

164 号（2023 年 12 月 25 日発行）

千里眼



no.164 2023

165 号（2024 年 3 月 25 日発行）

千里眼



no.165 2024

# ■令和5(2023)年度収支決算報告

## 正味財産増減計算書（予算対比）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

	予算	実績	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	1,000	1,023	△ 23
基本財産受取利息	1,000	1,023	△ 23
受取会費	33,400,000	29,994,000	3,406,000
維持会員	11,000,000	9,030,000	1,970,000
正会員	18,200,000	17,361,000	839,000
家族会員	100,000	62,000	38,000
キャンパスメンバーズ	2,650,000	2,150,000	500,000
ミュージアム会員	1,000,000	980,000	20,000
フリーパス会員	450,000	411,000	39,000
事業収益	235,598,000	257,450,187	△ 21,852,187
事業収益	51,560,000	70,659,595	△ 19,099,595
受託事業収益	183,038,000	186,245,465	△ 3,207,465
広告収益	1,000,000	545,127	454,873
受取補助金等	1,000,000	1,194,233	△ 194,233
受取助成金	1,000,000	1,194,233	△ 194,233
受取寄附金	0	1,026,206	△ 1,026,206
受取寄附金	0	1,026,206	△ 1,026,206
雑収益	1,000	2,980,917	△ 2,979,917
受取利息	1,000	282	718
その他の雑収益	0	2,980,635	△ 2,980,635
経常収益計	270,000,000	292,646,566	△ 22,646,566
(2)経常費用			
事業費	249,570,000	273,799,079	△ 24,229,079
給料手当	121,500,000	128,099,411	△ 6,599,411
臨時雇賃金	23,000,000	22,199,769	800,231
退職給付引当金繰入額	1,000,000	2,391,074	△ 1,391,074
法定福利費	18,500,000	21,012,500	△ 2,512,500
福利厚生費	1,500,000	820,855	679,145
旅費交通費	2,500,000	1,358,545	1,141,455
通信運搬費	7,690,000	7,890,734	△ 200,734
減価償却費	180,000	345,554	△ 165,554
事務委託料	100,000	860,455	△ 760,455
印刷製本費	13,500,000	12,318,324	1,181,676
諸謝金	600,000	623,451	△ 23,451
会議費	500,000	3,274,795	△ 2,774,795
光熱水費	400,000	399,545	455
消耗品費	600,000	1,025,273	△ 425,273
原稿写真委託報酬	3,000,000	6,566,388	△ 3,566,388
支払手数料	700,000	2,082,833	△ 1,382,833

(単位:円)

	予算	実績	差異
賃借料	3,600,000	3,947,310	△ 347,310
保険料	300,000	16,940	283,060
修繕費	50,000	28,600	21,400
著作権等使用料	50,000	0	50,000
教材等制作購入費	32,500,000	38,846,938	△ 6,346,938
教材出版物等棚卸差額	1,000,000	1,969,350	△ 969,350
館内サービス関係費	150,000	114,825	35,175
租税公課	16,600,000	17,605,500	△ 1,005,500
雑費	50,000	110	49,890
<b>管理費</b>	<b>19,430,000</b>	<b>13,872,788</b>	<b>5,557,212</b>
給料手当	10,000,000	5,693,657	4,306,343
臨時雇賃金	100,000	0	100,000
退職給付引当金繰入額	1,000,000	0	1,000,000
法定福利費	1,450,000	1,216,314	233,686
福利厚生費	100,000	25,717	74,283
旅費交通費	100,000	133,368	△ 33,368
通信運搬費	550,000	440,376	109,624
減価償却費	30,000	63,035	△ 33,035
印刷製本費	100,000	47,960	52,040
諸謝金	3,400,000	3,535,603	△ 135,603
会議費	60,000	215,496	△ 155,496
光熱水費	120,000	140,750	△ 20,750
消耗品費	500,000	641,558	△ 141,558
原稿写真委託報酬	250,000	204,940	45,060
支払手数料	120,000	154,776	△ 34,776
諸会費	0	8,400	△ 8,400
賃借料	1,150,000	634,048	515,952
保険料	200,000	227,110	△ 27,110
修繕費	50,000	221,280	△ 171,280
租税公課	100,000	268,400	△ 168,400
雑費	50,000	0	50,000
<b>経常費用計</b>	<b>269,000,000</b>	<b>287,671,867</b>	<b>△ 18,671,867</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,000,000</b>	<b>4,974,699</b>	<b>△ 3,974,699</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1)経常外収益			
雑収入	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1)経常外費用			
固定資産除却損	0	5,176	△ 5,176
雑損失	0	670	△ 670
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>5,846</b>	<b>△ 5,846</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 5,846</b>	<b>5,846</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>1,000,000</b>	<b>4,968,853</b>	<b>△ 3,968,853</b>
一般正味財産期首残高	78,642,563	78,642,563	0
一般正味財産期末残高	79,642,563	83,611,416	△ 3,968,853
<b>Ⅱ 正味財産期末残高</b>	<b>79,642,563</b>	<b>83,611,416</b>	<b>△ 3,968,853</b>

## 正味財産増減計算書（前年度対比）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	1,023	1,000	23
基本財産受取利息	1,023	1,000	23
受取会費	29,994,000	28,418,800	1,575,200
維持会員	9,030,000	8,830,000	200,000
正会員	17,361,000	16,629,000	732,000
家族会員	62,000	80,000	△ 18,000
キャンパスメンバーズ	2,150,000	1,873,800	276,200
ミュージアム会員	980,000	727,000	253,000
フリーパス会員	411,000	279,000	132,000
事業収益	257,450,187	239,652,244	17,797,943
事業収益	70,659,595	68,581,285	2,078,310
受託事業収益	186,245,465	170,732,885	15,512,580
広告収益	545,127	338,074	207,053
受取補助金等	1,194,233	4,707,546	△ 3,513,313
受取助成金	1,194,233	4,707,546	△ 3,513,313
受取寄附金	1,026,206	0	1,026,206
受取寄附金	1,026,206	0	1,026,206
雑収益	2,980,917	460,231	2,520,686
受取利息	282	162	120
その他の雑収益	2,980,635	460,069	2,520,566
経常収益計	292,646,566	273,239,821	19,406,745
(2)経常費用			
事業費	273,799,079	262,080,576	11,718,503
給料手当	128,099,411	129,217,231	△ 1,117,820
臨時雇賃金	22,199,769	24,047,986	△ 1,848,217
退職給付引当金繰入額	2,391,074	2,547,662	△ 156,588
法定福利費	21,012,500	20,165,798	846,702
福利厚生費	820,855	469,524	351,331
旅費交通費	1,358,545	3,056,396	△ 1,697,851
通信運搬費	7,890,734	13,172,802	△ 5,282,068
減価償却費	345,554	342,897	2,657
事務委託料	860,455	1,951,188	△ 1,090,733
印刷製本費	12,318,324	13,523,522	△ 1,205,198
諸謝金	623,451	502,061	121,390
会議費	3,274,795	205,283	3,069,512
光熱水費	399,545	464,677	△ 65,132
消耗品費	1,025,273	814,353	210,920
負担金	0	1,200	△ 1,200
原稿写真委託報酬	6,566,388	4,098,397	2,467,991

(単位:円)

	当年度	前年度	増減
支払手数料	2,082,833	983,562	1,099,271
賃借料	3,947,310	3,615,103	332,207
保険料	16,940	2,205	14,735
修繕費	28,600	53,900	△ 25,300
著作権等使用料	0	15,500	△ 15,500
教材等制作購入費	38,846,938	23,868,638	14,978,300
教材出版物等棚卸差額	1,969,350	1,655,972	313,378
館内サービス関係費	114,825	156,618	△ 41,793
租税公課	17,605,500	17,147,975	457,525
雑費	110	126	△ 16
<b>管理費</b>	<b>13,872,788</b>	<b>14,262,366</b>	<b>△ 389,578</b>
給料手当	5,693,657	6,178,247	△ 484,590
法定福利費	1,216,314	1,147,008	69,306
福利厚生費	25,717	189,007	△ 163,290
旅費交通費	133,368	131,455	1,913
通信運搬費	440,376	458,536	△ 18,160
減価償却費	63,035	39,962	23,073
印刷製本費	47,960	42,240	5,720
諸謝金	3,535,603	3,479,918	55,685
会議費	215,496	68,984	146,512
光熱水費	140,750	145,802	△ 5,052
消耗品費	641,558	490,108	151,450
負担金	0	18,900	△ 18,900
原稿写真委託報酬	204,940	204,850	90
支払手数料	154,776	219,439	△ 64,663
諸会費	8,400	0	8,400
賃借料	634,048	887,214	△ 253,166
保険料	227,110	250,980	△ 23,870
修繕費	221,280	122,266	99,014
租税公課	268,400	187,450	80,950
経常費用計	<b>287,671,867</b>	<b>276,342,942</b>	<b>11,328,925</b>
当期経常増減額	<b>4,974,699</b>	<b>-3,103,121</b>	<b>8,077,820</b>
2. 経常外増減の部			0
(1)経常外収益			
雑収入	0	30	△ 30
経常外収益計	<b>0</b>	<b>30</b>	<b>△ 30</b>
(1)経常外費用			
固定資産除却損	5,176	0	5,176
雑損失	670	0	670
経常外費用計	<b>5,846</b>	<b>0</b>	<b>5,846</b>
当期経常外増減額	<b>△ 5,846</b>	<b>30</b>	<b>△ 5,876</b>
当期一般正味財産増減額	<b>4,968,853</b>	<b>△ 3,103,091</b>	<b>8,071,944</b>
一般正味財産期首残高	<b>78,642,563</b>	<b>81,745,654</b>	<b>△ 3,103,091</b>
一般正味財産期末残高	<b>83,611,416</b>	<b>78,642,563</b>	<b>4,968,853</b>
Ⅱ 正味財産期末残高	<b>83,611,416</b>	<b>78,642,563</b>	<b>4,968,853</b>

## 正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公益		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	0	1,023	1,023
基本財産受取利息	0	1,023	1,023
受取会費	3,541,000	26,453,000	29,994,000
事業収益	257,450,187	0	257,450,187
事業収益	70,659,595	0	70,659,595
受託事業収益	186,245,465	0	186,245,465
広告収益	545,127	0	545,127
受取補助金等	1,194,233	0	1,194,233
受取助成金	1,194,233	0	1,194,233
受取寄付金	513,103	513,103	1,026,206
雑収益	2,980,635	282	2,980,917
受取利息	0	282	282
その他の雑収益	2,980,635	0	2,980,635
経常収益計	265,679,158	26,967,408	292,646,566
(2)経常費用			
事業費	273,799,079	0	273,799,079
給料手当	128,099,411	0	128,099,411
臨時雇賃金	22,199,769	0	22,199,769
退職給付引当金繰入額	2,391,074	0	2,391,074
法定福利費	21,012,500	0	21,012,500
福利厚生費	820,855	0	820,855
旅費交通費	1,358,545	0	1,358,545
通信運搬費	7,890,734	0	7,890,734
減価償却費	345,554	0	345,554
事務委託料	860,455	0	860,455
印刷製本費	12,318,324	0	12,318,324
諸謝金	623,451	0	623,451
会議費	3,274,795	0	3,274,795
光熱水費	399,545	0	399,545
消耗品費	1,025,273	0	1,025,273
原稿写真委託報酬	6,566,388	0	6,566,388
支払手数料	2,082,833	0	2,082,833
賃借料	3,947,310	0	3,947,310
保険料	16,940	0	16,940
修繕費	28,600	0	28,600
教材等制作購入費	38,846,938	0	38,846,938
教材出版物等棚卸差額	1,969,350	0	1,969,350

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公益		
館内サービス関係費	114,825	0	114,825
租税公課	17,605,500	0	17,605,500
雑費	110	0	110
<b>管理費</b>	<b>0</b>	<b>13,872,788</b>	<b>13,872,788</b>
給料手当	0	5,693,657	5,693,657
法定福利費	0	1,216,314	1,216,314
福利厚生費	0	25,717	25,717
旅費交通費	0	133,368	133,368
通信運搬費	0	440,376	440,376
減価償却費	0	63,035	63,035
印刷製本費	0	47,960	47,960
諸謝金	0	3,535,603	3,535,603
会議費	0	215,496	215,496
光熱水費	0	140,750	140,750
消耗品費	0	641,558	641,558
原稿写真委託報酬	0	204,940	204,940
支払手数料	0	154,776	154,776
諸会費	0	8,400	8,400
賃借料	0	634,048	634,048
保険料	0	227,110	227,110
修繕費	0	221,280	221,280
租税公課	0	268,400	268,400
<b>経常費用計</b>	<b>273,799,079</b>	<b>13,872,788</b>	<b>287,671,867</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 8,119,921</b>	<b>13,094,620</b>	<b>4,974,699</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>			
<b>(1) 経常外収益</b>			
雑収入	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(1) 経常外費用</b>			
固定資産除却損	5,176	0	5,176
雑損失	670	0	670
<b>経常外費用計</b>	<b>5,846</b>	<b>0</b>	<b>5,846</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>△ 5,846</b>	<b>0</b>	<b>△ 5,846</b>
他勘定振替前 当期一般正味財産増減額	<b>△ 8,125,767</b>	<b>13,094,620</b>	<b>4,968,853</b>
他会計振替額	<b>12,000,000</b>	<b>△ 12,000,000</b>	<b>0</b>
当期一般正味財産増減額	<b>3,874,233</b>	<b>1,094,620</b>	<b>4,968,853</b>
一般正味財産期首残高			<b>78,642,563</b>
一般正味財産期末残高			<b>83,611,416</b>
<b>II 正味財産期末残高</b>			<b>83,611,416</b>

## 公益事業予算対比

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

	予算	実績	差異
(1)経常収益			
受取会費	4,100,000	3,541,000	559,000
事業収益	235,598,000	257,450,187	△ 21,852,187
事業収益	51,560,000	70,659,595	△ 19,099,595
受託事業収益	183,038,000	186,245,465	△ 3,207,465
広告収益	100,000	545,127	△ 445,127
受取補助金等	1,000,000	1,194,233	△ 194,233
受取助成金	1,000,000	1,194,233	△ 194,233
受取寄附金	0	513,103	△ 513,103
雑収益	0	2,980,635	△ 2,980,635
その他の雑収益	0	2,980,635	△ 2,980,635
経常収益計	240,698,000	265,679,158	△ 24,981,158
(2)経常費用			
事業費			
給料手当	121,500,000	128,099,411	△ 6,599,411
臨時雇賃金	23,000,000	22,199,769	800,231
退職給付引当金繰入額	1,000,000	2,391,074	△ 1,391,074
法定福利費	18,500,000	21,012,500	△ 2,512,500
福利厚生費	1,500,000	820,855	679,145
旅費交通費	2,500,000	1,358,545	1,141,455
通信運搬費	7,690,000	7,890,734	△ 200,734
減価償却費	180,000	345,554	△ 165,554
事務委託料	100,000	860,455	△ 760,455
印刷製本費	13,500,000	12,318,324	1,181,676
諸謝金	600,000	623,451	△ 23,451
会議費	500,000	3,274,795	△ 2,774,795
光熱水費	400,000	399,545	455
消耗品費	600,000	1,025,273	△ 425,273
原稿写真委託報酬	3,000,000	6,566,388	△ 3,566,388
支払手数料	700,000	2,082,833	△ 1,382,833
賃借料	3,600,000	3,947,310	△ 347,310
保険料	300,000	16,940	283,060
修繕費	50,000	28,600	21,400
著作権等使用料	50,000	0	50,000
教材等制作購入費	32,500,000	38,846,938	△ 6,346,938
教材出版物等棚卸差額	1,000,000	1,969,350	△ 969,350
館内サービス関係費	150,000	114,825	35,175
租税公課	16,600,000	17,605,500	△ 1,005,500
雑費	50,000	110	49,890
経常費用計	249,570,000	273,799,079	△ 24,229,079
当期経常増減額	△ 8,872,000	△ 8,119,921	△ 752,079

## 貸借対照表

令和6年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>	円	円	円
1. 流動資産			
(1) 現金預金	22,845,178	21,173,752	1,671,426
(2) 未収入金	19,212,686	19,843,758	△ 631,072
(3) 貯蔵品	33,622,155	35,591,505	△ 1,969,350
(4) 前払費用	2,104,493	2,037,268	67,225
流動資産合計	77,784,512	78,646,283	△ 861,771
2. 固定資産			
基本財産			
(1) 基本財産特定資産	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
その他の固定資産			
(1) 車輛	1	1	0
(2) 什器備品	829,927	1,243,692	△ 413,765
(3) 退職給付引当資産	4,852,414	4,861,340	△ 8,926
(4) 電話加入権	594,951	594,951	0
(5) 差入保証金	1,000,000	1,100,000	△ 100,000
その他の固定資産合計	7,277,293	7,799,984	△ 522,691
固定資産合計	57,277,293	57,799,984	△ 522,691
資産合計	135,061,805	136,446,267	△ 1,384,462

科目	当年度	前年度	増減
<b>II 負債の部</b>	円	円	円
1. 流動負債			
(1) 未払金	43,927,231	52,671,620	△ 8,744,389
(2) 預り金	270,744	270,744	0
流動負債合計	44,197,975	52,942,364	△ 8,744,389
2. 固定負債			
(1) 退職給付引当金	7,252,414	4,861,340	2,391,074
固定負債合計	7,252,414	4,861,340	2,391,074
負債合計	51,450,389	57,803,704	△ 6,353,315
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産	83,611,416	78,642,563	4,968,853
負債及び正味財産合計	135,061,805	136,446,267	△ 1,384,462

## 貸借対照表明細表

令和6年3月31日 現在

科 目	金 額		
	実施事業	法人会計	合 計
	円	円	円
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
(1) 現金預金	761,390	22,083,788	22,845,178
(2) 未収入金	19,212,686		19,212,686
(3) 貯蔵品	33,622,155		33,622,155
(4) 前払費用	2,104,493		2,104,493
流動資産合計	55,700,724	22,083,788	77,784,512
2. 固定資産			
(1) 基本財産特定資産		50,000,000	50,000,000
基本財産合計		50,000,000	50,000,000
(1) 車輛	1		1
(2) 什器備品	689,343	140,584	829,927
(3) 退職給付引当資産	4,852,414		4,852,414
(4) 電話加入権	594,951		594,951
(5) 差入保証金	1,000,000		1,000,000
その他の固定資産合計	7,136,709	140,584	7,277,293
固定資産合計	7,136,709	50,140,584	57,277,293
資産合計	62,837,433	72,224,372	135,061,805
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
(1) 未払金	42,727,231	1,200,000	43,927,231
(2) 預り金	270,744		270,744
流動負債合計	42,997,975	1,200,000	44,197,975
2. 固定負債			
(1) 退職給付引当金	7,252,414	0	7,252,414
固定負債合計	7,252,414	0	7,252,414
負債合計	50,250,389	1,200,000	51,450,389
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産	12,587,044	71,024,372	83,611,416
(うち当期正味財産増加額)	( 3,874,233 )	( 1,094,620 )	( 4,968,853 )
負債及び正味財産合計	62,837,433	72,224,372	135,061,805

## 計算書類に対する注記

令和6年3月31日 現在

### 1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は、最終仕入原価法に基づく原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定額法による減価償却をおこなっている。

(3) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金規程に基づく要支給額を令和3年度より分割計上している。

(4) 消費税等の会計処理の方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高はつぎのとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
基本財産定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
合 計 (基本金)	50,000,000	0	0	50,000,000

### 3 基本財産の財源の内訳

基本財産の財源の内訳はつぎのとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
<b>基本財産</b>				
基本財産定期預金	50,000,000	(0)	(50,000,000)	—
合 計	50,000,000	(0)	(50,000,000)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、つぎのとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輛	620,830	620,829	1
什器備品	26,895,568	26,065,641	829,927
合計	27,516,398	26,686,470	829,928

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、つぎのとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	当期増加額	当期減少額	貸借対照表上の記載区分
<b>助成金</b>				
両立支援等助成金	厚生労働省	58,485	58,485	—
雇用調整助成金	厚生労働省	335,748	335,748	—
『図説 焼畑の民』出版助成金	五木村教育委員会	800,000	800,000	—
合計		1,194,233	1,194,233	

# 財 産 目 録

令和6年3月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
流動資産	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	1,817,630
	普通預金	りそな銀行大阪営業部	運転資金として	200,889
		りそな銀行千里北支店	運転資金として	2,428,677
		みずほ銀行飯田橋支店	運転資金として	976,654
		みずほ銀行茨木支店	運転資金として	471,274
		三菱UFJ銀行大阪営業部	運転資金として	6,107,192
		三菱UFJ銀行大阪中央支店	運転資金として	143,160
		三井住友銀行大阪本店営業部	運転資金として	393,342
		三井住友銀行南千里支店	運転資金として	2,920,367
		京都信用金庫本店	運転資金として	21,386
		三井住友信託銀行大阪本店営業部	運転資金として	36,989
		関西みらい銀行千里丘駅前支店	運転資金として	0
		池田泉州銀行北千里支店	運転資金として	610,417
	振替口座	郵便振替	会費等受入口座	6,717,201
			<b>&lt;現金預金計&gt;</b>	<b>22,845,178</b>
	未収入金	国立民族学博物館	公・受託事業の受託料金	15,809,269
		株式会社西遊旅行 他	公・広告料他の受取	3,403,417
			<b>&lt;未収入金計&gt;</b>	<b>19,212,686</b>
	貯蔵品	書籍『季刊民族学』	公・ミュージアムショップの販売用在庫	4,141,363
	特別展図録	公・ミュージアムショップの販売用在庫	10,572,693	
	その他書籍	公・ミュージアムショップの販売用在庫	4,991,400	
	販売用オリジナルグッズ	公・ミュージアムショップの販売用在庫	10,767,983	
	その他ショップ商品	公・ミュージアムショップの販売用在庫	3,148,716	
		<b>&lt;貯蔵品計&gt;</b>	<b>33,622,155</b>	
前払費用	国立民族学博物館	事務室賃料	1,965,903	
	大阪府 他	公・駐車料金 他	138,590	
		<b>&lt;前払費用計&gt;</b>	<b>2,104,493</b>	
流動資産合計			<b>77,784,512</b>	
基本財産	基本財産			
	定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産である	10,000,000
		三井住友銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産である	10,000,000
		三菱UFJ銀行大阪営業部	公益目的保有財産である	10,000,000
		りそな銀行千里北支店	公益目的保有財産である	10,000,000
		池田泉州銀行北千里支店	公益目的保有財産である	10,000,000
			<b>&lt;基本財産計&gt;</b>	<b>50,000,000</b>
	その他の固定資産			
	車輛	日産セレナ	公益目的保有財産である	1
			<b>&lt;車輛計&gt;</b>	<b>1</b>
	什器備品	パソコン他事務機器	うち、公益目的保有財産 83.1%	689,343
		うち、管理目的保有財産 16.9%	140,584	
		<b>&lt;什器備品計&gt;</b>	<b>829,927</b>	
退職給付引当資産				
普通預金	りそな銀行千里北支店	退職給付準備資金	4,852,414	
		<b>&lt;退職給付引当資産計&gt;</b>	<b>4,852,414</b>	
電話加入権	9回線	公益目的保有財産である	594,951	
		<b>&lt;電話加入権計&gt;</b>	<b>594,951</b>	
差入保証金	(株)トーハン	公益目的保有財産である	1,000,000	
		<b>&lt;差入保証金計&gt;</b>	<b>1,000,000</b>	
固定資産合計			<b>57,277,293</b>	
資産合計			<b>135,061,805</b>	

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動負債	未払金	原稿料		15,753,404
		退職者	退職金	5,400,000
		社会保険庁 他	社会保険料	5,341,484
		吹田税務署	消費税、源泉所得税	5,118,597
		臨時雇賃金/給与手当		546,464
		海外民族学資料、書籍等売店関係	公・ミュージアムショップ商品仕入	4,582,318
		その他		7,184,964
			＜未払金計＞	<b>43,927,231</b>
		預り金	厚生年金他	207,744
		＜預り金計＞	<b>270,744</b>	
流動負債合計				<b>44,197,975</b>
固定負債	退職給付引当金		公益目的事業 100%	7,252,414
			＜退職給付引当金計＞	<b>7,252,414</b>
固定負債合計				<b>7,252,414</b>
負債合計				<b>51,450,389</b>
正味財産				<b>83,611,416</b>

# 監 査 報 告 書

2024年5月23日

公益財団法人 千里文化財団

理事長 中 牧 弘 允 殿

公益財団法人 千里文化財団

監 事 端 信



監 事 光 武 和 子



私たち監事は、公益財団法人千里文化財団の2023年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の会計及び業務について監査をおこないました。その結果につき次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧等、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して、決算書類の監査をおこないました。
- (2) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と認められる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、公益財団法人千里文化財団の2023年度末日現在の財政状態及び同事業年度の収支の状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認めます。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

以上

## ■令和5（2023）年度理事会及び評議員会の開催状況

### □理事会

#### 令和5年度第1回理事会（5月29日開催 ※オンライン併用）での審議事項

オンライン併用で開催し、下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 第1号議案 令和4（2022）年度事業状況報告の承認の件  
第2号議案 令和4（2022）年度収支決算報告の承認の件  
第3号議案 評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦の件  
第4号議案 評議員会へ提出する理事候補者名簿の承認の件  
第5号議案 令和5年度第1回評議員会の招集及び付議議案の件

- 報告事項： (1) 代表理事及び業務執行理事からの職務の執行状況について  
(2) 国立民族学博物館創設50周年記念事業への協力について  
(3) 国立民族学博物館開館及び友の会発足50周年記念事業及び記念募金について  
(4) 新しい時代の公益法人制度の在り方に関する有識者会議による「最終報告（案）」、大阪財団社団連合会からのパブリックコメントについて

#### 令和5年度第2回理事会（6月14日開催 ※みなし決議）での審議事項

下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 議案 評議員の辞任に伴う後任候補者の推薦の件

#### 令和5年度第3回理事会（6月23日開催 ※みなし決議）での審議事項

下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 議案 代表理事及び業務執行理事の選定の件

#### 令和5年度第4回理事会（10月23日開催 ※オンライン併用）での審議事項

オンライン併用で開催し、下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 第1号議案 令和5（2023）年度上半期実施事業報告について  
第2号議案 令和5（2023）年度下半期追加事業報告について

- 報告事項： (1) 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告について  
(2) 令和6年度事業計画について  
(3) 公益法人としての新規事業の検討について  
(4) 国立民族学博物館創設50周年記念事業への協力について  
(5) 賃金の見直しによる問題点について

**令和5年度第5回理事会（令和6年2月15日開催 ※オンライン併用）での審議事項**

オンライン併用で開催し、下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 第1号議案 令和6（2024）年度事業計画（案）の承認の件  
第2号議案 令和6（2024）年度収支予算（案）の承認の件  
第3号議案 役員賠償責任保険の契約締結に関する承認の件  
第4号議案 令和5年度第2回評議員会の招集及び付議議案の承認の件

- 報告事項： (1) 代表理事及び業務執行理事からの職務の執行状況について  
(2) 令和5年度追加事業について  
(3) 国立民族学博物館創設50周年記念事業への協力について  
(4) 大阪財団法人連合会主催の「公益活動推進の日」について  
(5) 令和6年度の理事会等の開催予定について

**□評議員会**

**令和5年度第1回 評議員会（6月19日 ※オンライン併用）での審議事項**

オンライン併用で開催し、下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 第1号議案 令和4（2022）年度事業状況報告の承認の件  
第2号議案 令和4（2022）年度収支決算報告の承認の件  
第3号議案 評議員の辞任に伴う選任の件  
第4号議案 理事の選任の件

- 報告事項： 理事会の審議事項等について

**令和5年度第2回 評議員会（令和6年3月7日 ※オンライン併用）での審議事項等**

オンライン併用で開催し、下記の内容について諮り、全員が了承した。

- 審議事項： 第1号議案：令和6（2024）年度事業計画（案）の承認の件  
第2号議案：令和6（2024）年度収支予算（案）の承認の件

- 報告事項： 理事会の審議事項等について